京城日報

八日夕刊

紙代定價　一部金二錢五厘一ヶ月金五拾錢（郵送料前金）一ヶ月金六拾錢三ヶ月金一圓七拾五錢▲六ヶ月金三圓▲郵券代用二割增

廣告料　▲五號活字一行金七拾錢▲特別欄內一行金壹圓▲三號活字同上▲定一行は二行▲二號活字同上▲一行は五號活字の一行

發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介

發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社
電話　編輯　三四五番　營業　三二六番　振替貯金口座京城三〇〇番

○對支方針大體決定す

袁總統薨去に伴ひ帝國の對支態度決定の爲め開かれたる七日の臨時閣議に於て各相交々意見の交換を行ひたる結果袁氏弔問使節特派に就て某氏使節に擬せられたるも未だ具體的決定を見るに至らず大體の方針を決定し專ら今後の成行に依り臨機の擧措を執るに決したり（東京特電）

○北京の不安減少す
軍人擧つて黎氏に援助を誓ふ

北京來電に依れば六日午前臨時內閣會議を開き主なる軍人は擧て黎元洪氏を援助すべく誓へり而して段祺瑞將軍は禁衞軍と協商の上同軍をして北京の秩序維持に對し協力せしむべしと解せらるゝ爲擾亂發生すべしとの疑惧は減少したり（上海特電）

○北京靜穩と列國

袁總統薨去發表と共に多少の動搖あるべしと期待せられし北京は目下極めて靜穩の狀態に在り列國は一朝事變發生の際は日本の出兵を要求し在留者の生命財產保護を依賴すべく期し居れりと（東京電報）

○段內閣持續如何

袁總統薨去の爲支那政局は早晚動搖を免れざるべく段內閣が依然として黎副總統の下に持續するや否やは頗る疑問なりと觀測さる（東京電報）

○段財政求援說

段內閣は支那財政上の援助を我政府に求め來れりとの說あり（東京電報）

○袁克定危篤說

袁世凱氏の嗣子袁克定氏も危篤なりとの說あり（東京電報）

○奉天安靜
張作霖の豪語

袁總統の訃至り將軍公署其他支那役所各領事館（日本領事館を除く）が弔旗を揭げたるのみにて市中安穩何等動搖の兆なく張將軍は袁總統の死を聞くや之れ自然の運命なりと豪語し泰然たるもの〻如し（奉天特電）

○滿洲支那人平靜
討袁軍の態度

滿洲の支那人は袁總統の薨去に對し何等動搖の徵なく奉天に於てさへ弔旗を揭ぐる者少なく大連附近の支那人中には祝辭めきたるものを配布せしものあり彼等の浮薄輕佻笑ふべし猶近く討袁軍を起すべく準備中なりし革命黨員等は袁氏の薨去に就き是を見合せ今後の形勢を見て態度を決することとなれり張將軍は依然日和見的なり（大連特電）

○獨逸宰相の演說
海軍戰功激賞＝媾和せざれば最後迄

伯林來電に依れば獨逸宰相は帝國議會に於て演說し今回の大勝利につき獨逸海軍の爀々たる偉勳を激賞したる後若し敵國側にして今尙ほ媾和に耳を傾けずとあらば獨逸は最後の勝利迄戰爭を繼續すべきのみと述べたるに對し國民は一齊に喝采しつゝあり（紐育電報）

○キ元帥の訃と倫敦

倫敦來電に依ればキッチナー元帥薨去の報は倫敦市民を驚愕せしめ群衆は陸軍省前に押し寄せ詳報の發表を待てり內閣にては直に軍事會議を開き首相は缺席したるもグレー、マッケナ、ロイドジョーヂの三大臣出席協議したり

▲陸相の後任

キッチナー元帥の後任としてはロバートソン將軍ならんも官制の都合上名目だけの陸相として軍事會議員の一人に任命さるゝやも知れず（紐育電報）

○ハ號沈沒と提督報告

ジェリコー提督報告の要に曰く、余はキッチナー元帥及び其隨僚を載せたるハムプシャ號が五日午後八時オークネーの西方にて機械水雷又は魚形水雷の爲め沈沒せるを報告するの已む無きに至れるを遺憾とす陸上にて監視しつゝありたる者は四隻のボートが西北の強風に捲られて同艦を離れたるを目擊せる爲め直に巡邏艦驅逐艦を現場に派遣しヲボー海岸を捜索せしめたるも七日までの所數名の屍體及び顚覆せるボートを發見したるのみ海岸は隈無く捜索せられたるを以て今後生存者を發見する事殆んど不可能ならん捜索隊より未だ何等の報告に接せずと（倫敦電報）

○對支貿易活氣

銀塊價格持直しと共に對支貿易活氣を呈し來れり（東京電報）

◉總督弔詞傳達

小松翰長は八日午前十時三十分馬車を驅つて支那領事館に赴き袁大總統の薨去に對する寺內總督並に山縣政務總監の弔詞を傳達し十一時歸廳す

◉總督見舞傳達

寺內總督は八日午前十時半池邊秘書官を總督府醫院に遣はし入院中なる度量衡所龍山分室主任梅田技手の病狀を見舞ひ慰藉の辭を傳達せしめたり

◉井口中將表弔

軍司令官井口中將は八日午前古城副官を支那總領事館に遣はし袁大總統薨去に對する弔詞を傳達せしめたり

◉キ元帥薨去公報

重要なる財政並に軍事問題を提げ英艦ハンプシャーに搭乘露國に航行の途去る五日オークネー島の西方にて機械水雷の爲め艦の沈沒と共に溺死を爲したる英國陸軍の權威キッチナー元帥の薨去は英國陸軍省より八日午前京城駐剳英國總領事館に公報達したりと

◉二部長會同（第四日）

各道第二部長會同第四日は八日午前九時より總督府第二會議室に開會寺內總督山縣政務總監以下關係各部長官局長課長等出席し荒井度支部長官統裁の下に直ちに日程に入り午前は諮問、午後は事務の打合せありて四時散會したり

◉農林學校昇格

總督府にては勸業模範場附屬の農林學校をして將來專門學校たらしめんとの意嚮あり之れが實現の期は未だ確定せざるも先づ實況調查の必要あるより關屋學務局長は八日朝南大門驛發汽車にて水原に赴き同校の狀況に付き種々調查する所ありたり

◉鮮銀の哈市開店準備

朝鮮銀行哈爾賓支店新設準備の爲め北行せる同行本店詰阿部讓氏等は七日哈爾賓に到著の旨本店に電報ありしが氏等は直ちに營業所の借入れ同地官憲に對する諸種の交涉等に取掛るべしと

◉鮮銀の二部長招待

朝鮮銀行にては八日夜花月に入京中の各道第二部長を招待し盛宴を張る由なるが本府より各部長、官並に鈴木土地調查局長も臨席すべしと

◉三浦公使通過

三浦瑞西公使は既報の如く八日午前六時五十分著、同七時廿分發にて南大門通過北行せるが南大門驛頭には關屋局長、林理事、境警視、大垣京通社長其他見送りたるが倫敦に直行數日滯在の上任地に向ふ筈なりと

◉大屋長官出張

大屋鐵道局長官は山田技師を隨へ八日朝龍山出發忠州に出張したり

◉松永長官の巡視

松永京畿道長官は八日午前十時より鍾路小學校を視察し午後は順化院を視察したりと

◉古海總長登廳

古海警務總長は令兄逝去の爲め忌引中の所除服出仕を命ぜられ八日より平常の通り登廳せり

◉南山商會作業視察

京畿道警務部長は八日午前十時より光熙門外なる南山商會に到り肥料製造の實況を調査したる上歸途同商會附近の塵芥捨場を視察したり

◉奉贊會獻金申込者

明治神宮奉贊會の獻金申込は來る十六日限り締切を行ふにつき各町總代並に京城府等に申込み來る者多き模樣にて最近申込者の主なるものは志岐信太郎氏の一百圓を始め沈宜碩氏の二十圓、高橋久吉、浦上申三、中江勝治郎、中原遞博諸氏の各十圓等なりと

仁川

▲警察署射擊會　仁川警察署々員一同は來る十一日の日曜日午前八時より管內宮川町支倉里畑の農場前空地に於て射擊大會及び運動會を開催すべし▲美濃谷夫人受賞　仁川美濃谷榮次郎氏夫人信子は同地東本願寺に在る奧村五百子女史の碑修繕費として嚢に金八十圓を寄附したれば愛國婦人會仁川支部より本部宛其奇特の行爲に對し表彰方を上申中の處今般會長より三等有功賞を授與せられたりと▲和田書記長母堂逝去　仁川商業會議所書記長和田友太郎氏母堂ちか子刀自は兼て病氣療養中の處遂に七日午後五時長逝したり

平壤

▲西鮮經濟狀態　五月初の狀勢となり諸鑛業地に於ける作業の旺盛なると諸工事開始等の爲め需品たる牛皮の價格騰貴し其販路亦少なからず商況漸次活況を呈し來りたるも金融の狀態は依然として緩漫の狀態を持續せり▲屠獸場增築　平壤屠獸場は年々牛豚の屠殺增加し來る結果現在家屋にては狹隘を感じ不便勘なからざるより今回增建物に附屬して十四坪の建增しをなし尙ほ所々模樣替をなす事に決定しありしが五日道廳に於て請負入札をなし經費千三百六十圓にて織田常藏に落札す▲春蠶近況　平南道內に於ける春蠶は目下三眠を過ぎ漸く四眠に入らんとするが當年は氣候順調の爲め生育頗る佳良なり▲畜產の概況　平安南道に於ける畜產概況は畜牛現在七七二二七頭馬三六六六頭騾五九二頭驢二四三三頭豚四七一一八頭山羊四三頭鷄二七一六〇二頭にして畜牛及び豚は昨年より其數を減じたり其は歐洲戰爭の影響を受けたるものならんと▲平壤會議所發起人會　六日午後十時より發起人會を開き七日より向ふ五日間有權者名簿を公示し十五日を以て評議員選擧を執行することを決議し尙ほ選擧委員の補缺として詮考の結果富田晋二氏當選村井正明氏を選擧委員長に推すことに決定午後一時散會せり▲商議評議員選擧　別項の如く平壤商議所にては愈々來る十五日評議員選擧執行の筈にて候補者の顏觸れは大體に於て前報と異動なきも役員選擧の曉きには會頭に當選すべく豫期されたる宮川五郎三郎氏は突如として選擧委員長をも辭し斷然出馬せずと言明せる爲め風雲何となく穩かならず殊に鮮人側は平安農工銀行漢城銀行支店の兩行（代表者內地人）を選出せずと割當られたる八名の評議員は全部鮮人に於て占むべく說き廻る者あり爲めに一部內地人側にては可惜有爲の人物を逸する事を憂ひ淺井漢銀中西農銀兩氏を內地人有權者より選出せんとする者ありかた〳〵多少の競爭は免れざるべく且又前記の如く宮川氏の辭意固きを以て會頭副會頭以下役員の選擧にも幾多の波瀾を生ずべき形勢なり

木浦

▲魚市場水揚高　五月中木浦水產魚市場の水揚高六千二百四十二圓四十錢入船數七百九十八隻入荷數二十三個にして客月に比し千二百餘圓の減少なるが之れは天候不良と魚價の低落に因る尙ほ一般魚價は京仁地方への輸送減及び暖氣貯藏困難の爲め約二三割方低落せり▲全南米檢成績　五月中に於ける移出米檢查總數は一萬二千七百六十五上格千三百六十五下格一萬六百四十八受驗人員六十九名なりと因みに木浦受驗數三千六百二十四にして逆先は大阪なり▲木浦港出入船舶　五月中當港出入船舶噸數は入港汽船三十隻一萬六千八百十八噸帆船六隻八十五噸出港汽船三十二隻一萬七千六百六十三噸帆船四隻六十八噸なりと▲宮木道長官消息　管內各郡視察中の道長官は六月五日順天に一泊し六日筏橋浦に向け出發せりと▲橋本府尹招宴　同府尹は五日午後六時より區長其の他有志を木浦ホテルに招き晚餐會を催したり▲警察署員射擊會　常盤警察署長林警視以下四十餘名の署員は志氣を鼓舞する目的を以て六日午前八時より高崎洞元監獄敷地に於て實彈射擊を催す筈なるが高點者には賞與あり在鄉軍人分會員も多數參加すべく右終つて壯絕なる野外演習を行ふべしと

鎭海

▲司令官の巡閱　要港部司令官山口少將は六月一日より恒例檢閱の爲め管內各部隊を巡閱したるが隨行せし幕僚は參謀長伯爵淺野大佐參謀海津少佐副官晋門少佐小池主理富安機關大佐加藤軍醫中監町田主計中監にして出張中は將旗を撤し海軍中佐綾部防備隊司令其職務を代理し尙ほ同司令官は韓崎、神崎へも出張したり▲鎭海養蠶と桑難　鎭海面にては養蠶獎勵の爲め本年初めて稚蠶飼育を實施したるが鮮人に桑葉を窃取さるもの多く此勢ひにて經過せんには漸く萌芽せし養蠶思想も頓挫すべしと憂慮を抱くものあり▲東京相撲來鎭　東京大相撲西の海大錦巡行隊は釜山打揚後鎭海にて二日間興行せんとて中西理事年寄淺香山平八郎四日打合の爲來鎭宮崎峰太氏と目下協議中也▲警察取締施行　六月一日より貸座敷、料理店旅館規則實施されし結果として從來第二種料理店は二部に分割せられ山海、春の日、天金、花月、萬歲、錦、齋藤更科、商正其他十一軒は第一種料理店となり他二十九軒は貸座敷營業に變せしが鎭海開放當時より遊廓豫定地として有名なる鶯谷は指定地區域外となり之が爲家屋を建築し地形を築きて豫期せし二三の人々は何れも一萬圓以上三萬圓以內の損失に失望落膽の態也▲鎭海五月中貿易　鎭海に於ける五月中輸移出入貿易價は輸移出品價格六千六百零四圓にして輸移入價格三萬五千三百六十六圓なるが前月に比し一萬八千七百零六圓の增加なり原因は沿岸漁場にて漁業用品の需用激增の爲めなり又た同月中出入せし汽船帆船の隻數及び噸數は入港百六十隻五千三百二十一噸にして出港合計五十六隻三千零零參噸なり▲水道汲水勸誘　鎭海市街水道使用者は六月二日の調查に依れば僅かに百七十四戶に過ぎず艦隊入港中公衆衞生上の危害少からずとして其の筋にては百方汲水方勸誘に努めつゝあり▲學校組合經費　鎭海學校組合にて大正四年度組合費徵收成績を取調べたるに調查額六千八百八十三圓二十五錢に對し五月末現在六千五百九十八圓五十八錢にして尙ほ昨今陸續納入しつゝあれば結果は相當に好成績を示し步合は調定額に對する九分八厘位に上るべしと

釜山

▲釜山港貿易額　釜山港に於ける去る五月中の貿易額は輸出百五十萬一千五百二十四圓輸入百二十一萬六千四百三十圓合計二百七十一萬七千九百五十四圓にして是を昨年五月の貿易額二百三十五萬三千二百卅八圓に比すれば輸出に於て三十萬三千二百五十圓輸入に於て六萬一千四百六十六圓合計三十六萬四千七百十六圓の超過を示したり而して輸出の重なる者は米六十一萬九千五百五十一圓大豆二十萬五千五百六十圓乾魚及び鹽魚五萬三千五百九十六圓黑鉛三萬三千七十三圓牛皮五萬九千七百七十二圓肥料五萬三千三百六十六圓にして又輸入の重なる者は麥粉一萬六千二百零四圓食鹽三萬五百十三圓砂糖七萬六千百二十三圓酒一萬四千六百七十九圓麥酒二萬二千百八十二圓綿織糸五萬五千二十九圓生金巾及びシーチング五萬三千百八十圓日本木綿五萬三千五百七十七圓石炭四萬七千二百零六圓木材板三萬七千七百八十七圓繩叺二萬五千百三十一圓等なりと▲先月關釜連絡客　五月中關釜連絡船乘降客は出港船數五十九回、乘客九千二百卅二名にして內譯內地人七千八百〇二名、鮮人二百〇六名、支那人十九名、歐米人百九十五名なり、入港船數五十九回降客九千七百四十九名內譯九千四百六十名、鮮人百廿二名、支那人三十九名、歐米人百廿八名なるが之を等級別にすれば乘客一等三百八名、二等千百八十二名三等六千七百三十二名降客一等二百九十二名二等一千六百五十六名三等七千八百〇一名なりとす▲佐々木長官動靜　去る五日來釜せる佐々木道長官は淺原技師福島通譯等を隨へ六日釜山水產組合の江風丸にて太邊の漁場を視察する筈なりしが雨天の爲め餘儀なく視察を見合はせ七日同所を視察したる上夕刻同地に引返し八日より更に巨濟島方面の漁場を視察し來る十日頃歸廳すべしと▲高知縣視察團　高知縣視察團一行廿七名は去る六日午後五時十五分著にて大邱より來釜し市內を見物したる上同夜八時三十分發の高麗丸にて歸縣の途に就きたり▲釜山公園改修　釜山府廳にては愈々龍頭山公園を改修することに決し去る六日府廳に於て之が工事の請負入札を行ひしが入札者十餘名に達し開札の結果四千二百圓にて同町の會原鶴太郎に落札し近日中に工事に著手の筈なるが同工事は初め山頂の切下げ工事を行ひたる上豫定の如く龍頭山神社を同處に移轉すべく同神社の移轉工事は金一千四百三十圓にて京城の育田松太郎請け負ふことに決定し山頂の切下げ工事の完成を俟ちて是が移轉工事を行ふ筈なるが多分七月初旬頃移轉を見るに至るべく移轉と同時に同神社にては地鎭祭を兼ね盛大なる移轉祭典を執行の由なるが同公園全部の土木工事は來九月下旬迄に竣成の豫定なりと▲商議員改選　釜山商業會議所にては朝鮮商業會議所令改正の結果去る三月四日附を以て新たに商業會議所設立認可の申請中なりしが同申請は愈々本月三日附けにて認可せられたるを以て同會議所にては近日中に發起人の代表者たる從前の內鮮人兩商業會議所の役員會を召集し評議員選擧期日を決定する筈なるが同選擧は認可遲延したる爲め遲くも本月中に行ふべしと

三道界橫斷記
梧籠より　上田獻心

▲大邱より金泉尙州醴泉を經て乃城に至る行程五十三里餘、而も時を費やす僅かに十時間、如何に汽車、自動車、自轉車の便ありと雖も又以て交通線路の整備しつゝある恩澤を謂はざる可らず▲慶北道奉化地方より江原道黃地里三良里に沿ひ忠北道永春丹陽附近は所謂連綿たる竹嶺、大白諸山脈にして南鮮アルプスの名は其實を顯はせり余等一行は此アルプス越を企てたるなり

▲服部警務部長、黑田乃城分隊長、關倉警長を始めとして余等同勢の一行七名嚴めしく乃城を出發せしは廿一日午前七時半尙ほ曉霧迷みて微笑するが如く點在せる村落深綠に眠れるが如し丘君句あり

乃城を曙發かくれの武者七騎

七騎の武者は城塢の木陰に憩ひぬパチ〳〵と木の實二つ肩上に落ちたり

城趾でやれ一息の木陰かな

何ならずさ雖も自然の流麗、木陰より山間の耕地を見れば地味必ずしも良からざれど農家の努力著しく頭はれて心地よし恍惚爽快心に徹す

クワッコウー一聲啼きて郡公頭上を掠めぬ

西碧里より

▲十時梧籠出張所に著すれば村民一同恭しく一行を迎ふ是を出張所の庭前に集めて服部警務部長一場の訓示を與ふ、肺ヂストマ豫防に就き、桑樹栽培養蠶等に就ける懇篤なる注意道路改修の趣旨などは嬉しく素朴の村民を首肯かしめて最と心地よし此處にて晝食す

▲梧籠の地名已に文學的なり梧桐點々花を飾れるあり比翼の鳥は見えざれど此地には連理の枝相纒はりて繁茂せり特に產物と稱するものの少なけれど豫大の栗、水柿、小栗などは尠なき產物の一なり

▲午後一時出發西碧里に向ふ愈々山深けれど道がに道路は改修せられて乘馬通ずべく搬車運び得べし途中藥水あり掬するに美味歩を進むるに從うて稍々急勾配の峠となる正に周實嶺の絕頂に達す（七八三メートル）見渡せば滿山悉くアベマキ繁生す慶北著名の特產物となり得べし

▲峨々たる玉石岩を左に眺め乍ら西碧里に著せしは午後四時四十五分連山相擁して南に延び溪流山麓を帶して谷間に至る好箇の仙境

人事消息

▲鍋島市映侯　八日午後七時三十分平壤より歸京の筈
▲中村純九郎氏　八日午後五時五十分南大門驛通過內地へ向ふ筈
▲宇垣少將一行　八日夜元山より京城旅館に投宿の筈
▲佐々木藤太郎氏（慶南道長官）　入京中の處八日夜歸任の豫定
▲福田義明氏（平壤憲兵隊副官）　入京中の處九日朝歸任の豫定
▲關屋貞三郎氏（學務局長）　農林學校視察の爲め八日朝水原に赴き同夜歸任
▲駐劄副領事へ氏（京城駐箚）　八日朝歸任
▲原口忠太郎氏（元山水電重役）　七日夜入京南米倉町高田氏方へ滯在
▲篠岸內務參政官　滿洲より八日夜入京の由

圖大塊翁俳信

大塊翁頃日人吉の山中より一句を寄せて曰く

球磨に高麗に相呼ぶや時鳥

又た人吉の山中に迄タングステン熱押し寄せたらしくと前置して

高麗の熱球磨にも及ぶ暑さ哉

假大總統　黎元洪氏

●自己の智慧を遣はぬ
是れが眞似の出來ぬ豪いところ
大總統の職を嗣いだ黎元洪氏
ソウルプレス記者　布施知足氏談

袁總統の薨去に接して黎副總統が職を嗣いだと云ふ事である黎氏は先達てから時局に不平で副總統を辭したいと强請んでゐたやうでもあるし一時は愚圖々々してゐると袁氏一派に毒殺されさうだと云ふので度々逃出さうとしたらしいが袁氏の方では黎氏は

▽大切の人質だから　逃がしも殺しもせず副總統の辭任もまあまあと宥めて置く中に袁氏が意外にも亡くなつて黎氏が偶然大總統の位に卽く事になつた袁氏は若い時から惡戰苦鬪智術の有丈けを絞つてあれ迄になつたのだが黎氏は武昌の一旅團長で革命の時も單に部下から擁立されたに過ぎなかつたのだと謂ふし性質は重厚で敵は無いと云ふが才智の方は餘り秀でてゐるやうには思へない

▽革命がうまく成功　して副總統になつたのが隨分運が好いと思はれてゐたのに今度は又思懸なく偶然大總統になる議員選擧で法定當選者に事故が生じたと云ふので次點者がうまく當選するのよりもつと運が好いと謂へば謂はれる次第である、黎氏は確か湖北の黄州府黄陂縣と云ふ處で生れた人で字は宋卿と云ひ

▽齡は今歲五十一　になつたと思ふ十八の時天津の水師學堂に這入つて二十二で卒業した。だから初は海軍士官で日淸戰役には丁汝昌の部下として定遠の砲術長であつた其後張之洞に見出されて南京の要塞司令官となつたが次で武昌に移つて當時編成中の新軍教錬に與さはつた之が黎氏の武昌の軍隊と關係が出來る初で一時武昌から派遣されて

▽日本の近衞師團　に見學に來てゐた事がある明治三十八年に歸つてから武昌の第二十一混成協統卽ち旅團長となり長江艦隊を兼管したといふ次第である、履歴から謂つてもどちらかと云へば先は貧弱で餘り取立てゝ謂ふ程の事も無いやうである但し性質は極めて溫厚で少しも圭角が無いそれに自分の智慧を遣はうとしない所が自然に德望の出來る所以かと思はれる、今になれば

▽もう公然の秘密　だが元來武昌の革命には大分日本人が加擔してゐた眞先に驅付けて商事の切盛をしたのは某と云ふ退職少佐で實は僕の友人も少々其人に隨いて黎氏の旗下にゐたものである其友人達からの手紙にも黎氏の惡口は一向言つてないから矢張り何處となく豪い所の有る人であらう、其は兎に角そう云ふ關係から

▽今後日支の關係　は此迄とはがらりと變つて俄に親しくなるかと云ふと之は到底さうは往くものでは無い黎氏の位地が何時まで保つかは姑く措き支那人民の希望が是迄通り極端な利權回收であり之に伴ふて政府の政策が極端な中央集權である以上時局永久の收拾も日支永遠の親交も先は餘り望のないものであると思はれるそして黎氏が其德望で以て此二樣の風潮を挽回し得るかと謂へば之亦

▽畢竟望の無い事で　此風潮に逆らひもせず推されてゆくやうにしてしかもうまく反對の方向に導いてゆく事は一寸誰にも出來まいかと思はれる、目下支那國民の問題としては帝政共和の爭では無く中央集權か地方自治か更に國産の自營か外人との共同かと云ふ點にある畢竟自國民に對する

▽自矜心の勃發こ　國家を經營する實力の不足といふ此二點の矛盾に苦しんでゐるので、黎氏が出たつて此調和が取れない以上不愉快な支那の國家的苦悶は中々休まるものぢやない、若し其れ宗社黨の活動なんかと云ふに至つてはこれ程馬鹿々々しい事は無く淸朝復活なんて箆棒な、そんな事になりさうだつたら吾輩も愈々革命黨になるつもりである

□印度詩聖の光榮

五日夜入京したるタゴール氏は滯京中宮中の御都合を伺ひ英國大使グリーン氏同伴宮中に參內　天皇陛下に謁見仰付らるゝ由（東京）

●驅逐艦遭難船　救助に向ふ

鎭南浦中村組が村井吉兵衞氏より傭船し居たる旺洋丸（千八百餘噸）が德山行き無煙炭を搭載し四日未明木浦沖牛耳島附近にて沈沒し乘組員及び便乘者二十名の行衞不明者を出せる事件は朝鮮近時稀有の海難なるが其の救助並に屍體搜索の爲め七日鎭海要港部より驅逐艦一隻及び木浦より警備船現場に急行したり尙ほ同船は船齡四十近き老朽船なりしと

●十二歲の掏摸　連絡船を荒して捕はる

下關市長門町山田方雇人森本國市（一二）と云ふは今より六年前對州炭坑爆發の際兩親が慘死し其後は寄る邊なく彼方此方と彷徨し本年一月頃前記山田方に雇れしものなるが五日夜同地の常設活動寫眞山陽倶樂部に趣き觀客の某が遺失せし金五圓餘在中の財布を素知らぬ顏にて拾得し六日夜下關出帆の關釜連絡船に乘込み同夜某旅客の銀時計及び金指環を竊取し尙ほ同船給仕の居室に忍び入り金四圓五十錢在中の財布を竊み七日朝釜山に上陸せんとせるを船員が怪しき財布を懷中せるを發見し斯くと水上署に屆出でたれば直に釜山署に引致取調中なり

●御陵發掘犯人　逮捕さる

奈良縣なる垂仁天皇及び光孝天皇御陵發掘犯人は其筋に於て極力搜探中の處逮に就縛せり（東京電話）

●東萊別莊番人　殺しは死刑

東萊福田別莊番人殺害事件の被告吉木又平夫妻は八日午前九時釜山地方裁判所に於て死刑の宣告を受けたり兩人は之れに服せず直ちに控訴すべしと（釜山特電）

●東京相撲乘込　十七日より釜山で興行

東京相撲西の海、大錦、栃木山、綾川、對馬洋等の一行二百餘名は來る十四日東京を出發し同十六日朝着の連絡船にて釜山に乘込み翌十七日より十九日迄向ふ三日間同港大廳町鐵道ホテル敷地に於て興行の筈なるが先發として年寄朝日山追手風及び理事中西氏等二三日前來釜し目下諸般の準備中なりと（釜山）

●藝妓新規則に違反　して科料十圓

五月一日より實施されたる宿屋、料理屋、貸座敷等の取締新規則に依り本月六日の夜二名の藝妓が市內某旅館に宿泊中の客人に招かれて其座に侍り居れる所を所轄本町署の警官が認めて告發し旅館主人及藝者二名は各科料十圓宛の處分を受けたるが是等は一般同業者の注意すべき事なり

□キ元帥の戰歷　印度陸軍總督の職を去り支那日本を漫遊

▲キッチナー元帥は千八百五十年の生れで本年六十二歲工兵科の出身で少尉に任官されたのは千八百七十一年それから千八百八十九年に少佐に千八百九十六年に少將に千八百九十八年中將に千九百二年大將に累進したのだ□主なる戰歷としては千八百八十四五年に那加スダンに遠征し千八百八十八年スワキム附近の戰役中ハンダーブで重傷を負ひ翌年のスダン、千八百九十六年にドンガラ、千八百九十七年にナイル及び有名なる千八百九十八年から千九百二年に渉る南阿戰爭等に戰功を擧げ此の間に貴族に列せられ男爵、數多の勳章を賜はつた□千九百二年印度陸軍總督の職を去り支那日本を漫遊の序でを以て朝鮮にも來り明治四十二年十月三十、三十一の兩日京城に滯在中當時の軍司令官大久保大將の案內で龍山の軍隊を見た、此の當時軍參謀長だつた明石少將、龍山駐箚附だつた古海中尉（今の軍司令部副官）は安東縣から下關まで同行案內した事がある□元帥は謹嚴で、六尺二寸餘の大兵、然かも眼光炯々として威風人を壓するの槪があつた、語學は佛語、アラビヤ語に長じ人に接すると極めて懇切で其の生れの里開なる、その家名が英國陸軍に重を加へた人とは思はれぬ位であつた

□英艦と運命を倶にした　下村中佐

英艦クヰン、メリーと運命を倶にした故海軍中佐下村忠助氏の家族が起臥しつゝある芝白金町成田鐵道社長山田英太郎氏方に夫人悲子を訪へば

▽夫人は産褥　に在り夫人の父に當る山田氏は暗然として語つて曰く、下村は米澤の者で明治三十二年兵學校を首席で卒業し大正元年十二月に少佐に累進した、海軍大學校を卒業した時には現伊太利駐在の今村信次郎少佐、米國駐在の森川源吾少佐と共に優等で

▽恩賜銀時計　を拜授したが卒業後橫須賀鎭守府副官兼參謀に補せられ八代中將の海軍大臣に任せらるゝと共に拔擢されて海軍省副官兼秘書官となつたが大正元年同郷の八代將軍の世話で娘と結婚したのである目下長男孝夫（三）長女和子（二）である、昨年十月二年間の豫定で英國へ

▽渡英した時　に家族は私の宅に引取つたのである下村は極めて質素の男で結婚の時も大臣の媒酌といふのだから普通ならば派手にしても長官や同僚を招いて披露でもする所だが下村は之を嫌つて狐鼠々々やつてしまつた渡英後毎月一回必ず便りを寄越して居た數日前卽ち北海に於ける英獨大海戰の報が號外に依つて傳はつた日‖‖來た手紙には秘書官をして居た時には氣苦勞が多く隨分痩衰へて居たが

▽近來は元氣　になつて居るので非常に肥滿し頰の肉なども落ちさうになつて居る、何卒子供を大切に育てゝ呉れといふ意味が記してあつた（東京）

●嬰兒を殺害す

慶北永川郡知谷面及谷洞居住の孫婦李必珠（二二）は生兒を撫摸にて窒息死に至らしめたるがこれを聞きたる迎日郡杞溪面李張雨は（二五）致道方に甘言を以て [illegible] 同人が應ぜざりし爲目的を遂せず [illegible] 同五箇月に河露（四七）は致道に對し [illegible] 罪の判決を言渡されたり因みに必珠は [illegible]

京城に何が欲しいか
□圖書館と私立中學
原勝一氏談

「京城に何が欲しいか」と云ふ貴社の提問に應答した之等の物件は何れも從來長い間京城人士が其設置を希望し來つて居たものであり併しながら此の中で自分から緊要なるものと然らざるものとの差別は有る第一最も投票の多數を占めて居る公會堂の如きは其の設置を希望した人達は如何なる理由に由つて

▽如何なる公會堂　を欲して居るか知らないが普通に所謂公會堂として宏壯なる建築を爲た處で其の建物を何に使用するかと云ふ事が甚だ疑問である字義通りに在京城の內鮮人が盛んに此の會堂に集會して時事を討論し演說する事は勿論總督府で許さないで有らうし又朝野名士の歡迎會場の如きは朝鮮ホテル及び其の他にも會場として決して窮しては居らぬ、して見ると頗る

▽名士の講演會　でも開催する事が其の主なる公會堂使用の目的となるが之れとても月に三回も四回も有る譯ではなし、又單に倶樂部としては其の維持が頗る困難であらうと思ふ、それよりも市民一般が集會する場所が欲しいと云ふならば商業會議所の建物を擴張し一部は倶樂部の設備のある附屬の割烹所を設けて置く事後の

▽大連商業會議　所の如くするのも可いが之れとても左して必要と云ふ程の事はないそれよりも京城に於て最も必要を感じて居るのは圖書館と私立中學校とであらう圖書館は山口君の經營して居る圖書館もあるが素より充分のものとは云ひ難い其の經營は裕でない爲め思ふ存分に內外の新舊圖書を蒐集するは頗る困難のことであるから、どうしても府で經營する

▽完全の圖書館　が無くてはならぬ殊に新らしい京城府の如き處に有つては個人としての藏書も亦頗る貧弱で有る上に購求するとしても東京などと異ひ極めて億劫である、新らしい科學が更に新らしい科學を生んで寸時も休止しない現代に於て此れ丈けの都市が一つの完全なる圖書館を有せぬと云ふのは如何にも不便である又一方

▽私立中學の設置　は子弟を有する一般市民が極めて必要と認めて居る問題で有らうと思ふ本年度の京城中學校入學志望者に見るも百五十名の募集に對して約六百名の志願者が有つた殘り四分の三は或は內地の中學に入つた者も有らうけれども一年ブラ〳〵して又來年の入學期を俟つて居る者も決して少くない而して年々斯くの如くして

▽多數の落第者　が出來る之れ等の生徒を收容して之れに手近かなる實科的教育を施す事は最も必要なる事である現今に在つては極めて優秀なる才能を有する者は格別であるが否らざる者は速かに相當の技術を學び實際社會に立て處して行く丈の事を覺えて置く方が本人の爲にも

▽國家の爲めに　も幸福である最高の教育を受くるに非ざる者は尋常中學だけ卒業したのでは何の役にも立たぬから何年もかゝつて入學試驗などを爭つて居るよりも中學程度の實業教育を受ける方が宜しい京城に欲しい私立中學とは斯う云ふ意味から工科鐵道電氣科などの簡易なる中學程度のものが欲しい商業は善隣學校が有るから當分の間はあれで宜しからうと思ふ

投書

▲是非とも公會堂
京城　山田楊州

貴社の投票の結果に依れば公會堂が第一位にあるが之は當然であると思ふ其理由は澤山ある新年の名刺交換會に雨で弱つたのは今年の正月の經驗である。名士の歡送迎會の會費が高い爲に一般の市民は列席する事が出來ない況んや演說を開くことなどは出來ない、此例は近く阪谷男京城通過の時に經驗した。また知名の學者などの講演會にした所が一千人と纏つた人數を收容し得る會堂を京城が有たないために市民の多數は其智識慾を滿すことが出來ない之は貴社の講演會の時が好例ではないか。公會堂を以て全く不生產的のものである樣にいふ論者もあるがそれは見る如何にあるので之を必要とするは主として形而上の利益を打算するのである、又內地の各都市に此頃出來て居るから京城にも欲しいといふ樣な皮相の見からでなく——素より京城では京城特殊の事情及び民度といふ事を考量の內に置かねばならぬが此等も斟酌して見る時益々以て其必要を感じて來る。吾輩はまた公會堂を以て平常は投票の第二位を占めた『一般的の日鮮人社交機關』に利用する方法を講じ得ると思ふ、利用の法は之のみに止らぬ、之が建設及び維持の方法は左程六箇敷ないと思はれるが投書行數に制限があるから遺憾ながら擱筆する。要は極めて質素で堅牢であればよい、外觀や體裁などに拘泥する事は全く不必要である

□讀者の聲を歡迎す

天氣　くもり
▲曇後晴　六月九日

國產獎勵と朝鮮牛
▲見落す勿れ　畜產農業界▼
朝鮮牛の特徴
▲性質溫順にして勞力粗食に耐へ酷寒三伏の候と雖も原野に臥するも疲勞病魔に侵さるゝ事なし
▲爪の堅牢なるは岩石を割るが如き堅固無比なるが故に數十里の山路石道にてもクツを穿たしむる必用なし
▲近來朝鮮牛の佳良なるは諸點の完備せるに依る之れ農家畜產界の一大福音として賞讃せらるゝに依る
▲輸送は朝鮮及び日本內地に於ける鐵道運賃の特約と關釜間に於ける輸送は汽船によりて迅速確實を以てせり
▲農業家畜產界の諸彥益々御引立あらん事を奉願上候
活牛移出問屋　釜山鎭驛前　上杉古太郎商店　電話一〇三七番

くすりは山岸
諸官衙御用達　洋藥　賣藥　卸問屋　醫療及試驗器械
懇切叮嚀、迅速確實に市內配達及び地方通信販賣致居候
京城本町二丁目郵便局前　山岸天佑堂　藥品部　器械部　電話

鉛鑛買入開始
▲從來金、銀、銅、亞鉛、重石鑛等買鑛致居候處本月ヨリ更ニ鉛鑛買入開始仕候ニ付鑛量ノ多少ニ不拘續々御送鑛ノ程希望仕候
▲前記鉛鑛中含有ノ金銀ニ對シテハ相當ノ代金御支拂可申候
▲目下選鑛場建設中ニ付之カ竣工次第鉛ノ貧鑛モ御引受可申候
大正五年五月
久原鑛業株式會社　鎭南浦製錬所

醇良清酒　白鶴
仁川本町三丁目　增本酒店　電話一〇九番

營業科目
營業開始
鑛物鑑定、分拆、鑛山調査
測量製圖、其他鑛業事務一般
並に重石買入
京城大平通大漢門横　中央鑛務所

內科　小兒科（入院隨意）
京城府龍山元町（憲兵隊側）　幾野醫院　電話二〇四番

●武術と農園好きの 平壤の少年

□可愛らしい苺畑□勇しい武術稽古□

□廣い停車場附近の平地にある平壤公立小學校は羨しい程廣い校庭と農園を有つて居ます

□門を這入つて玄關の左右には美しい花壇の花も見事ですがまた校舎の中庭には櫻花に象どつた花壇が培られてあります

□更に裏庭の畑に行つて見ますと僅か一坪に區劃された可愛らしい多くの花園や蔬菜園が行き届いた手當のもとに設けられてあります

□畑の中には、たまな、ゑんたう、大根などの野菜類に大きな如露で水をやる小學生が夥多居ました、生徒は皆野菜培りが上手なやうです

□また隣の果樹園を見ますと澤山の實を結むだ苹果、梨、櫻桃、葡萄などの樹が威勢よく育つて居ました

□可愛らしい和蘭苺の畑にはまた紅い苺が澤山出來て居ましたが誰れにも摘まれず紅く熟して居りました

□「此の池は生徒が課業の合間〳〵に掘つたもの、お蔭で運動場の地均しが出來ました」と辻校長が語られました

□擊劍と柔道も此の學校ではなか〳〵盛んのやうです

●要塞地帶では……

寫眞と寫生とに御注意

最近關門海峽で附近の砲臺を撮影して水上署に引致された外人がありますが朝鮮でも元山港附近の永興灣一帶や鎭海灣一帶は軍事上大切な要塞地帶となつて居りますから寫眞を撮る事や寫生する事などこれからの海水浴に行く避暑客などはよく注意しなければなりませぬ

●パゴダの演奏

…今晩八時から…

パゴダ公園の奏樂かけ李王職音樂隊の第二回演奏愈八日の八時から始まります演奏曲目は次の通り

一、進行曲　陸彙と劒　ブロン作
二、箏曲　六段
三、ワルツ曲カルメン浪子　ラテフツ作
四、短吹　三下曲
五、綜合曲　オペンバロカナ　コンラデ作
六、序曲　流浪女　ベルベ作
七、歌曲　カバレリカルステカナ中幕　マツカタニ作
八、序曲　フンイヤデラスセロ大將　エルケル作
九、カヂヲレ曲ヘルミンチン　イアノタイチ作
一〇、マツルカ曲　一心一情　ラテラカス作
一一、君が代　エツケルト作

◎中學寄宿記念日　京城中學校にては七日が寄宿舎の記念日にあたりますので午後三時からお祝ひの爲めに相撲大會を催しました見物も力士も中學生徒ばかりでなか〳〵の盛會でした

◎吉木教授の兼任　總督府醫院の囑託であると同時に京城醫學專門學校教授の吉木彌三氏は這回又中央試驗所技師に兼任せられました

◎馬山小學校の記念式　馬山尋常高等小學校の開校記念式は去る六日午前九時より同校講堂にて開催多數の出席者ありて盛會でした

□キッチナー將軍は有名な女厭ひの人であつただけそれだけ將軍とおはなしの能きた婦人は無上の光榮でありました、寫眞はヘーコート侯のニューハム公園に於ける園遊會で親しく將軍とおはなしをして居る有名な美人ヰニフレッド、レーンシュー夫人であります

神社と敎會とお寺

▲聖公會　十一日の聖靈降臨日には午前九時半より祈禱と說敎聖餐式あり夜は午後八時より晩の祈りと說敎あり

▲護國寺　十二日の夜恒例の說敎があります十三日の午後一時より婦人會の法話

■嗚呼キッチナー將軍(一)

□□英國に於ける乃木大將□□

□「大膽に汝の義務を爲せ、神を畏れよ、國王に光榮あれ」とはわがホーレーショ、アルバート、キッチナー元帥の英國軍に下した號令であります

□ウエリントン將軍以來の軍人として適材を適所に置いたと許せらるゝ大英國の陸軍大臣キッチナー將軍が祖國の自由の爲めに叫むだ獨逸に對する戰の號令は僅かに此の力强い數語に過ぎませんでした

□將軍は實に敏捷と周密によりて軍事上の大成功を收めた人でありました、將軍の擧動や言語や號令は常に敏捷の色彩を帯びざるものはありません

□將軍は此の標語を以て牛乳と蜜の國(南阿)に功を樹て埃及に武名を輝かし次いで印度の軍隊を完成し近くは獨逸に對して佛白の野に戰つてゐましたが不幸這回北海の水泡と消ねて了ひました

□生前英國婦人の憧憬の的となりつゝも常に女厭ひで押し通した將軍は質に六尺豐かの大兵で眞ッ直な體格を有つた人でありました

□またその頑丈な顎と堅く引き結んだ居と、鋼鐵のやうな眼光と、快活なる勇氣と、嚴き威嚴とは男の中の男として、たゝへられました

□一千八百六十八年將軍は年齡僅かに十八歳にして士官學校に入りましたが彼の普佛戰爭が勃發するや否や無斷で學校を飛び出して佛のシャンジー將軍の下に馳せ加はりました

□當時將軍は勇敢なる輕氣球乘りとして偉功を樹てましたが不幸墜落して肺炎に罹つたことがあります

□その後英國に歸つてから工兵の尉官に任せられましたが時のケムブリッヂ侯爵は其の入隊を拒み前の脱走を責めたこともありました

□將軍は一千八百七十四年聖地パリスチン遠征軍に加はりましたが其の緻密なる才能は殆んど三千頁以上に亙る完全な占領地の調査書類を作製し當時「キッチナーは往來の石塊までも裏返して見ろ」と噂されたものでした

「骨てサー、プリンウッド將軍の埃及に軍隊を編成せんとした時三十二歳のキッチナー將軍は其右左腕として選び出されアラビヤ軍隊の編成に偉勳を樹てましたが

□當時將軍を刺さんとして多數の間諜が入りこむで來ましたが將軍は常にアラビヤ土人そのまゝの姿になつて居ましたので幾度天幕の裡を覗つても遂に果さずして了りました▲將軍の名聲が漸次國の內外に喧傳されたのも實に此の頃からでありました(つゞく)

番茶のあとさき

露都のとある料理店に日本の葱が到着したと聞いた日本の大使館員が狼狽てゝ飛び込み値段を訊きますと一本二ルーブルと吹かれてさすがに頭を掻いて引下りました▲中央試驗所附近にアトリエを有つた高木背水畫伯は歐洲戰亂勃發前に英國へ繪具の註文を出しましたところ何うした間違ひか註文の約十倍に當る荷物が届きました▲今更送り還す譯にも行かずといふので其のまゝ仕舞込むでをきますと間も無く這回の大戰亂▲昨今日本の畫家が何れも繪具拂底に困窮して居るところへ高木さん許りは何處を風がふくといつた暢氣さで居られます

—△會いろ〳〵▽—

◎鐵道青年會講演　九日午後四時半より龍山の同所にて小松中樞院書記官長の講演あり題は『戰後列國の關係を論じて我國民の覺悟に及ぶ』

◎帝劇封切大寫眞

自六月十日至十三日四日間提供

昨春噫無情の說明に滿都の好評を博したる藤野唾虎出演

壽座

△女子高普の茶話會　京城女子高等普通學校にては九日午後より新入學生の爲めに茶話會を開き猪臣府聽田中半四郎氏の婦に關する衛生講話あり

函館と牛蒡との玉子かけ　館は骨を拔き頭を切りおとし牛蒡は小口より斜めに削りてさゝがきとなしたき鍋を出し之にまづ牛蒡を一面にいれ其上に骨拔きしたる館をならべ味淋一杯濃川し三杯醤油一杯位の割合にて作りたる汁をいれて煮る十分味のつきたるとき玉子をよくときて其上にかけ半熟位のときに鍋をおろし皿に盛る

商況

東京株式特電

八日	前場寄付	大引
日本郵船	—	—
京城電氣	一六九、七〇	一六九、六〇
同新	四八、五〇	四四、六〇
鐘紡	—	—
日本製糖	—	—
同新	—	—
東株第一	—	—
東株第二	—	—
東新第一	—	—
東新第二	—	—

債券現物特電（前日との比較）

八日川東國毀	
東洋拓殖	—
京城電氣	—
朝鮮銀行	—
朝鮮瓦斯	—
南滿鐵道	—

公債直取引特電（前日との比較）

八日川東國毀	
五分特別	九五、〇〇
五分利	—
一回四分	—
二回四分	—
甲五分	—

深川在米特電

八日現在高	
鮮米	七八、三六九
朝鮮米	五六、一二〇
内地米	二〇、九五〇

八〇、八〇〇　八一、七〇〇　九五、八〇〇

東京期米特電

八日前場	
寄付	一三、四〇二
高値	一三、四七〇
安値	一三、二四〇
止め	一三、四〇一

大阪期米特電

八日前場	寄付	止め
當限	一三、〇三	—
中限	一三、五四	—
先限	一三、九四	—

大阪株式特電

八日	前場寄付	前場止値	後場
宇治川水電	—	—	—
神戸電氣	—	—	—
京阪電鐵	—	—	—
和歌山紡	—	—	—
合同紡績	—	—	—
同新	—	—	—
東洋商船	—	—	—
大阪商船	—	—	—
日本郵船	—	—	—
大阪米穀	—	—	—
東京新株	—	—	—
大阪株式	—	—	—

大阪三品特電

八日前場		
六月限	一三、二五〇	一三、二七〇
七月限	一三、二七〇	一三、三二〇
八月限	一三、二七〇	一三、三二〇
九月限	一三、二〇〇	一三、四七〇
十月限	—	一三、四二〇
十一月限	一三四、五〇	一四、五〇〇

下關期米特電

八日前場晴	中限	先限
寄付	三三、三四	三三、〇〇
高値	三三、五五	三三、四〇
安値	三三、五四	三三、〇〇
止め	—	—

雜報

●絹糸は强調　本月に絹糸は七日の如く相場を一三品市場殊に大阪入電は六日本場の當限百三十圓九十五錢先限三十二圓六十錢を安値の名殘りとして今前場は當限百三十二圓五十錢先限三十四圓五十錢に寄付當十錢高先同事を以つて打止何となく[illegible]

●現物一圓高

●五錢高先物は氣强　[illegible]

●新粉益安し　今益々安人氣にて現物は六〇入二圓二十六七錢七八月の新物は二圓十三四錢の間を往來せるが目下の所東京市中問屋は何れも先安を見越し居る爲め二圓十錢位迄賣込まんとする[illegible]

●染料依然不振　[illegible]

●經て弗々入荷　[illegible]實際中立國

●白絞油漸落　[illegible]

●東に三十錢安　[illegible]下値

●機械油區々　[illegible]

●方の低落　[illegible]十錢方値上　[illegible]約七十錢

●牛皮は持合　[illegible]

下關相場

△朝鮮白米も不勢　[illegible]

行賈仲買店

吉　仁川海岸町　電話[illegible]

各地商況

○釜山(七日の穀物)　△正米下落　本邦期米の益々暴落[illegible]

○大邱(七日の穀物)　△正米　內地期米の大崩落に鑑いて[illegible]

京城正米

[illegible]

南大門の廻穀

平澤玄米	二七〇叺	天安玄米八五叺
鳥山玄米	五二〇叺	天安
鐵原大豆	一〇一叺	鳥山白米
水原白米	四一〇叺	一山白米
大安白米	二八〇叺	平澤白米二四叺

京城雜穀

[illegible]

仁川現物市場

[illegible]

仁川期米

▲八日前場

節八十二錢と瓦落　五錢安の入電に[illegible]移り[illegible]

▲暫勝に押目は依然買　[illegible]

利　仲買店　仁川米豆取引所仲買人　電話[illegible]

三巳仲買店　仁川米豆取引所仲買人　海岸町　電話[illegible]

市場零聞

▲下れ跡保合　[illegible]十五錢と下放十一圓九[illegible]

▲此邊の大保合か

▲戻賣乎否乎　[illegible]

仁川米豆取引所

八日の八月限

前場	平均値段
寄付	十一圓九十五錢
止め	十一圓九十七錢
高値	十一圓九十九錢
安値	十一圓九十三錢
出來	二萬三百石
一節	十一圓九十六錢
二節	十一圓九十七錢
三節	十一圓九十五錢
四節	十一圓九十四錢
五節	十一圓九十五錢

賣買取組高

六月限	千百石	
七月限	三萬千石	
八月限	一萬六千八百石	

七日後場	前日と較比
一二、九四	一、〇 安
一二、〇八	安
一二、〇九	安
一二、九四	高

北濱だより

▲當株は算外　[illegible]

▲糟益々縮少　[illegible]

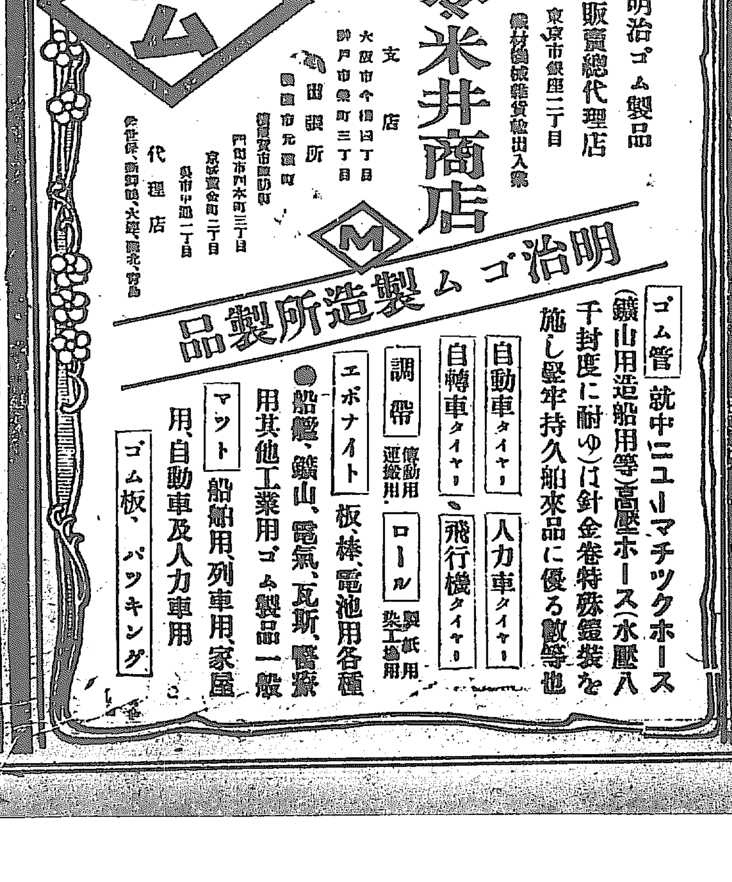
▲逆鞘は依然大阪より見て正米より見て割高を感ず　[illegible]

▲悪材料の存在　[illegible]

▲期米目先觀　[illegible]疑問の解決は限月に接近

僅に一圓八十五錢　[illegible]

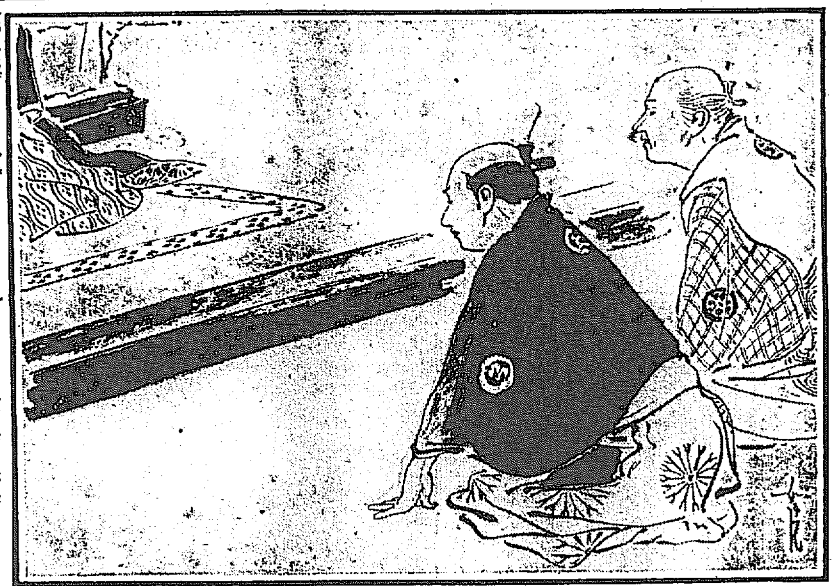
中限に集注　賣彈を擁して賣るか賣らずか　買ふか米を賣るか非か　[illegible]



宮本武藏

第六十三回　桃川如燕口演　浪上義三郎速記

上田主水が 主「宮本氏此男は平常は左のみ悪い人間ではござらんが誠に酒の悪い人間で、飲むとどうも氣が暴々しくなつて誠に困る人物、斯様な事は毎度ださうで、拙者も折々意見をいたすが更に聞入れません、相變らず酒を飲んで斯様な事をいたす誠に貴殿に對して申譯もござらんどうか上田主水に免じて御勘辨下さるやう 武「左様御詫下さつては恐入ります、元々酒狂の上の戯れ、拙者も



眞劍勝負をいたす者へはございません、横山氏が一刀の鞘を拂はれたに依つて扇子を持つて對手をいたしましたばかり、愈々となつたら一寸抓んで傍の方へ片付けやうと存じまして……」横山權太夫腹の中で酷い事をいふ奴だ傍の方へ片付けるなんて大掃除の道具のつもりで居る忌々しい事をいふ奴だと思つて居る 主「以後もある事だ決して酒を飲んでは成らん宮本氏が御勘辨下さるといふ之へ參つてお詫をなさい 權「ヘエ横山權太夫一遍で懲々して了つた 主「能くお詫をなさい此方は貴公も承つて居るだらう小笠原家の宮本氏である二刀流を工風した名譽の御人だ、貴公が如き者十人懸つても宮本氏に及ぶ氣遣はない、貴公も大祿を頂戴して居る指南番、身裝を見ると立派だが人間は實に下らぬ男だ 權「恐入ります 主「恐入るではない能く氣を注けなければ往かぬ、今後斯様な不屆な事を致すと拙者が勘辯いたさん、宜いか 權「ヘエ相濟ません次第で、エ、宮本先生とは知らず飛んだ失禮をいたしました 武「失禮といつたつて此上の失禮はない間違へばお互ひに命が失くなる大變な失禮だ 權「存せぬ事とは申し乍ら面目次第もございません」平に御容赦下さるやう願ひます、何も彼も酒の上の事で」武藏笑つて 武「御酒の上では粗忽は有がちでござるが、併し以後は餘りお過しなさらんやうになさい飛んだ間違の基で 權「モウ懲々致しましたスツカリ酒も醒ましたやうで」之は醒めたに違ひない奴さん胸の方へ往つて小さくなつた、上田主水も豫て宮本の名を聞いて知つて居る、神免二刀流を工夫した天晴な人物といふ事を存じて居りますから 主「宮本氏お急ぎの途中ならば强いてはお止め申さんが如何でござらう城内へお立寄下さる譯には相成りますまいか、實は君公も宮本には是非逢ひたいと仰やつて先日來頻りに宮本は城下へ來ぬかくとお聞になる、お差支へなくば二三日でも御逗留下さらば幸ひ拙者屋敷へ御案内申すでござる」宮本も外ならん上田主水の言葉であるから 武「其では仰せに隨がひ二三日御厄介に相成り、尙君公へも御拜顔仕るでございませう」と茲で上田の案内に隨がつて宮本武藏城内へ參ります、當國の城主松平安藝守光晟侯は淺野彈正大弼長政の嫡子左京太夫幸長の孫父を但馬守長晟といつて德川家康公八番目の姫君、初め蒲生飛驒守秀行の室となり後に淺野但馬守長晟の許へ嫁して光晟を產み、東照神君の御孫に依つて松平の稱號を賜はり安藝守從四位少將に任せらる、後に紀伊守と改めましたが名君の譽れある方、武藏が參つたといふ事をお聞になつてお喜びになり直にお目通り仰付けられお杯を下さる、武藏有難く頂戴して種々武藝のお話しを申上げ、上々の首尾で御前を下がり上田の屋敷へ歸つて來る、上田主水も叮重に扱つて居ります、又主水も戰場往來の豪傑だから話が面白い、二三日經つて武藏が暇乞をするとモウ一日くといふので引止められて半月許り滯在して居ります、君公も度々御前に召されて武藝の話をお聞になる、淺野の家中に武藝名譽の人も澤山あるから是非一本といつて試合を望むが武藏辭退して試合をしない、其は深い仔細があるからでございます、所が同藩の家老に西尾孫左衛門といふ人がある、此人が上田の屋敷で宮本に面會して種々話しの末に 孫「エ、拙者の屋敷へもお出下さるやう、拙者兩三日前一頭の馬を求めましたが頗ぶる駿足是非宮本氏の御目に懸けたい 武「其はく是非拜見に罷出ます 孫「其ではお待申す」と云て孫左衛門は立歸りました

泌尿器病
入院隨意（診療夜九時迄）
腎臟病 膀胱病 淋病 梅毒 痳疾 皮膚病
專門
永樂町二丁目 金光教會隣り
安部醫院
電話四一九一番

六月十日九星
舊五月十日 戊寅
本命四綠 開 成 友引

▲四綠 利を奪はるゝ事有日注意 新事見合北方は吉賭勝負▲五黄 誑はれ損となる事有る日新事手控爭事は吉一切のせわ事を禁ず▲六白 平の日物の準備を爲は吉新事手控 常の事は妨なし▲七赤 ふと魔を受けんとす新事手控 爭事土工は妨なし▲八白 小受合の事有日 新事手控 移轉は吉人に物を托せぬがよし▲九紫 爭論有る日 轉居入學金件名弘 求職棟上嫁娶遊技を殿る吉▲一白 悅樂の日轉居旅行出產名弘求職開業等皆吉▲二黑 依頼事の遺船金件婚禮試驗を受る等吉▲三碧 …の事多き日新事手控 轉居旅行出產名弘求職婚禮等は吉

演藝案内

黃金館 黃金町四丁目 電話二六三七
大松色活動寫眞株式會社滿鮮一手代理店
六月四日より差替の大寫眞 ○泰西探偵劇「白い手」原名(何?)全三卷 …ロスアンゼルス…にかける…會社一傑作 ○…劇 艶容女舞衣三勝半七酒屋の段 ○新派大悲劇「湖」全三卷

浪花館 明治町 電話二六〇番
今晩の讀物 △二人探偵(遊之助)△湖田主水(如月)△櫻川五郎藏(雲照)△水戸黃門記(兎月)△佐原家騷動(長講一席 京山恭爲)△義士大高源吾(桃中軒如雲)
◎入場料は破天荒極りなき赤とこんな値段で聞ける一等二十錢、二等十五錢、特等正六時開演

御成座 御成町 電話一二九一
三日目
藝題 嫁ケ淵 小笠原自舟氏作 全十三場
下宿屋女將お新(小川)△女中おまさ(北井)△姓忠兵衛(花木)△泉治助、鈴木…原三(本田)△手代(小林)△敎員矢上政ハ(小泉)△井原…田作(…)△…代國太(…)△…吉 …江川定吉(中村)

大正館 櫻井町 電話八七三
六月九日より差換新寫眞 ○泰西活劇「敎の網」… ○…

最上
鶴
醬油
京城府龍山元町
關西商會釀造所
電話三十九番
振替口座京城七三九番

長壽靈品は
「ヨーグルト」
京城若草町 荒井牛乳販賣部 電話一〇〇四番
「荒井の牛乳」
滋養と健康の母

りん病
自宅にて人知れず安全秘密に良藥あり只一劑よく試よ切手三錢其良藥と自宅療法の詳細を報す
困る方で多年の慢性ものも治癒すれ送す
名古屋市南かじや町 武藤亀吉

工事請負
一 淸溪川浚渫工事
此入札保證金ハ各自入札金高ノ百分ノ五以上
入札者ハ京城府内ニ於テ國稅地方費府稅學校組合費年額參拾圓以上納ムル者ニシテ滿二ケ年以上斯業ニ從事スル者ニ限ル
右入札ニ附スニ希望ノ者ハ本府會計係ニ就キ入札人心得書、契約書案、仕様設計書、圖面、現場等熟覽ノ上六月十三日午前十一時限リ同會計係ヘ入札スヘシ即時開札ス
此契約ハ朝鮮總督府府尹金谷充擔當ス
大正五年六月七日
京城府

埼玉縣人 榎本彌三郎 卅歳前後
右雇入中不都合之行衛不明同人等現居所御承知の方は御通知に預り相應謝儀可仕此段以廣告及御依頼候
東京淺草區駒形電停前 布施商會

たむし 水虫 錢瘡 治癒
良劑 …
直ぐ試み給へ

本舖の新製 色の水藥（衣類へ色附かず）
田虫 いんきん 皮膚病も 快治す
(個十二錢 廿錢 特製五十錢一圓 送料四錢)
本舗 名古屋市……小路通 小林盛大堂
大阪 平野町小林大藥房 東京 …
全國藥店若…

胃病新藥
マーゲン
胃腸病治療專門藥
大阪本町 …
京城南大門通二新井藥房 …
約持店

Family Hotel.
本館は市の中央にあり土地高層庭内廣く閑靜にして宿泊及び宴會には最も好適す
佛國式料理
宿泊 宴會
京城南大門通三丁目
米國京城洋服店跡
ファミリーホテル（元ファミリーゲストハウス改）
舘主 ミセス、ボーエル
電話二二一八番

瀨戸醫院
外科 皮膚科
旭町二丁目(舊三丁目)
醫學士 瀨戸潔
(電話二四九八番)
診察夜九時まで

登録 商標
瓢水味淋
堺 嶋本釀
專賣店
京城本町二丁目
前田酒店

本邦及英米國政府 專賣特許
滋養强壯料

▼甚しき臭味を忍びて、肝油を飲用すべき時代は去れり▲
▼咀嚼して美味無臭、容易に定量の肝油を食用し得べき▲

河合龜太郎氏創製
◎肝油ドロップス

肝油が一般の虛弱者、腺病者、結核性素質者、營養不良に起因する眼病患者、腺病質の兒童等に對し、治療上缺ぐべからざる滋養劑として内科、眼科、小兒科等の醫家に處方せられ、卓効を奏するは、醫療上の定論なり、然れども其特有の臭味、甚だしく不快なるが故に其服用を嫌忌せらるゝを慨し、河合氏多年苦心研究の結果、形狀洋菓ドロップスに似て、麥芽糖及び可溶性の含窒素物を基礎とし、一顆毎に精製純良の肝油一瓦宛を正確に含有し、乳化完全にして、分布極めて細密、美味無臭にして而かも容易に食用し得べき「肝油ドロップス」を創製す、本品は從來、肝油諸製品に優り、服用に面倒なる手數、携帶の不便、變敗の迅速なる等の缺點なく殆んど本質の肝油たる事を忘れ、兒童は勿論何人も好んで食用し得ると、酷暑の候と雖も、冬季と異る事なく、消化吸收の作用頗る良好なる事とは本品の最も優秀なる特色とする所なり。

(現品縮寫圖)

肝油含量一顆一グラム
服用
五歳以下　一日二回乃至三回 一回一顆又は二顆
十歳以下　一回二顆又は三顆
十五歳以下　一回三顆又は四顆
大人　一回四顆又は五顆
一日八顆乃至十五顆

用法
普通菓子の如く食すべし、又は湯茶を以て細片に剪り冷水或は微温湯にて嚥下にするも妨げなし

定價
五十顆入 一壜 金七十錢
百二十顆入 一壜 金一圓五十錢
罐入 百方顆入 一罐 金二圓…

如斯人は滋養料◎肝油ドロップスを用ふべし
一、顏の色が蒼白くて艶無き人
一、皮膚の紋理が惡くザワくしてゐる所謂あれ性の人
一、身體一般に貧血してゐる人
一、是といふ病氣はなくても何と無く弱く感冒に罹り易い人
一、筋肉の目立て瘦せてゐる人
一、手足が冷て寢られぬといふやうな纖弱い人
一、色が蒼くて肉瘦せ、而して活潑ならぬ所謂腺病的の小兒
一、頸が細長く、頰が瘦け、咳嗽や痰の人並より多く出る所謂結核素質のある人
一、筋肉を太らせ、無病壯健に元氣よく活動せんとする人
一、身體一般に脂肪氣の少き人
一、顏や手先きを滑こくし度い人
一、產前產後の滋養を計らうとする人

如斯人は滋養料◎復方肝油ドロップスを用ふべし
一、骨の故障即ち佝僂病骨軟化其の他種々の骨病ある人
一、營養不良から來れる眼病、例へば夜盲症や網膜貧血に罹れる人
一、腺病(瘰癧)に罹れる小兒
一、發育不全の小兒
一、貧血症になつてゐる人
一、肺結核其他結核的の病に罹つてゐる人
一、腦神經衰弱、ヒボコンデリー、ヒステリーなどの神經病に惱まされてゐる人
一、陰萎、遺精などの生殖器病
一、病後の衰弱を速く回復したい人
一、心臟病に罹れる人
一、右の外種々の病に罹つてゐる人の滋養物として理想の良食物である

登録商標 專賣特許
◎ 複方肝油ドロップス
肝油の含量を一顆一瓦に及び石灰、燐、鐵を有し、有規那等を含有せしむ

登録商標 專賣特許
◎ 肝油ドロップス
肝油の含量一顆一瓦にして麥芽糖及含窒素物を以て容性し可成る

▲賣捌＝全國到る處の藥舖、洋酒食料品店、化粧品店、小間物店▼

本舖
ミツワ石鹼
ミツワ椿油
ミツワ家庭藥
肝油ドロップス
御園化粧品
發賣元
登録商號 ◎
丸見屋商店
東京市日本橋區橘町四丁目
藥劑、滋養品、石鹼、香粧品、小間物問屋
電信略號〇ミヤ……振替口座東京七一〇番
營業部電話特長浪花三〇、四四八、四四九、四五〇番

京城日報　第三版
大阪三品　東京株式　大阪株式
九日朝刊(夕刊と合せて八頁)
本紙定價　一部金三錢五厘　一ヶ月金六拾錢　郵送に限り　三ヶ月壹圓九拾錢　六ヶ月三圓七拾錢　郵券代用二割增
廣告料　▲五號活字一行金七拾錢　▲特別欄內一行金壹圓貳拾錢　▲指定所一行金拾錢增　▲三號活字の一行は二號活字同樣　▲六號活字の一行は五號活字同樣
發行兼編輯人　與田直毅　印刷人　小川三之介
太平通一丁目　發行所　合資會社京城日報社
電話番號　編輯(長三四五番・一二〇番)　營業(長三六番・六〇〇番)　振替貯金口座京城三〇四番

歐洲戰局

京城日報

今春以來、世間此五月に於て歐洲列國間の大決戰を見るべしと取沙汰するもの多く、三月中或ものは連合軍側の準備既に成り、愈よ五六月の交を以て大攻撃を開始すべき見込なりと論證したり。然れども連合軍は今に至りて猶ほ自ら進みて總攻撃を開始せざるのみならず、獨軍ヴヱルダンを攻撃すること甚だ急なり。墺軍は伊軍に殺到し、既に伊太利國內に進入し來れりと傳ふ。去月末日丁抹沖に於ける英獨開戰は、其檢論に就て區々の世評あり。是未だ其詳細を知る能はざれども、是亦獨逸海軍より働きかけたる戰鬪なるに相違なく、假りに其損害は五分五分なりとするも、獨逸艦隊は戰鬪後自己の根據地に歸還し得たるを以て誇りと爲すに對して、英國艦隊は之に依りて其實力の强大なることゝ北海封鎖の確實なることゝを、證明し得たるは甚だ稱揚せざる可らず。世間往々獨墺が飽まで積極的に戰鬪を仕掛け、常に其の攻撃的態度を支持するを驚異するものありと雖も、戰爭は攻撃に利あるか、將た又防禦を利とするかは、其時と場合とに依りて之を定めざる可らず。且强有力者にして、防禦の地位に立ちて徐ろに時機の至るを待つことあること、其形窮し其力將に盡きむとするものにして、戰鬪を急ぎ攻撃を是れ試むることも亦有り勝ちの事なり。大體より之を觀るも、獨逸は列國の合圍の中に陷り、萬死の地に一活を求むるものなり。其の力戰急攻其革を爭ふの情あるは、固より其處にして、今日にありては獨逸にして英佛露諸國を屈服するまでの實力なきことゝ、連合軍亦獨逸を粉碎するには、前途に多くの未知數を含めり。只問題は獨逸が如何なる點まで此與情的積極行動を持續し得べきかと云ふにあり。今日世人の耳目は、一にヴヱルダン戰線に集中す。獨軍攻撃百有餘日を閱して、ドゥーモン方面に若干の地步を占め、更に死人山三〇四高地方面にも幾步を進め得たりといふに止まる。其惡戰苦鬪犧牲を供すること甚だ多きは、東西古今の戰史上其類を見ざるところなりと雖も、果して此要塞を陷れ得るや否や。專門家の共に疑問とするところたり。且つ萬一にも此要塞にして沈默するが如き事ありとも、佛軍の防禦線は既に全きものあり。獨軍をして席卷の功を專らにせしむるが如きことは、必無といふを憚らず。是れ有識者の之を目して、獨逸が撰びて此に最後の死勇を致すものと爲す所以なり。獨り伊太利戰線に至りては、甚だ懸念すべき所以のものあり。墺軍トレンチノ方面より進みて、既に伊國內に入る。其の志蓋しヴヱニスを衝きて鐵道線路を橫斷し、伊太利の大軍の後方を遮絕するにあるべく、伊軍懸軍長驅一箇年、遂に何事をも爲し得ずして却て今に及びて尫弱なる墺軍の逆襲を受く、伊軍今にして大憤發大努力を爲すにあらざれば、其跡[illegible]逆睹すべからず。

內地臺灣所觀

漢城銀行專務　韓相龍

四、臺灣の產業

△煙草　煙草の本島に消費せらるものは內地製、外國製、臺灣製の三種にして內地製は內地專賣局より購入し外國製は輸入取扱人を經由して海外より購入し臺灣製は本島に於て之を製造し各販賣機關を通じて定價を以て販賣せしむ而して臺灣製は現今試製品を除き專ら刻煙草に限られて凡て本島人に需用せらる臺灣刻煙草製造原料は從前は本島產甚だ拙劣にして所要全部を支那產の輸入に仰ぎたるのみなりしが種子の改良及び無料下付、模範耕作、指導耕作、賞金附與等の種々なる獎勵方法を行ひたる結果逐年其面目を一新し今や其品質支那產に匹敵する良品を產出す。尙外國種を輸入して試作したりしが其成績良好なり。兩切紙卷煙草試製は口付紙卷煙草、葉卷煙草及び葉卷煙草を試製試賣中なり大正三年度に於ける煙草の總賣下高は四百五十萬圓なり

以上を綜合するに專賣局に於て大正三年度阿片の收入五百二十萬圓食鹽の收入九十萬圓樟腦の收入五百二十萬圓煙草の收入四百五十萬圓合計一千五百八十萬圓にして專賣局の支出八百七十萬圓とす差引收益約七百十萬圓なりとす

△水產　本島は溫熱兩帶に跨るを以て水族の種類頗る多く本島の北南兩部及び澎湖列島に於て鮪、鰹、鯛等の漁獲多し。然るに由來本島漁船は木造又は竹筏なるのみならず[illegible]沖合の漁業をなす能はず他の產業に比して甚だ幼稚なり。然るに總督府に於て水產上の種々の施設をなして之れが發達に努力したる結果漸次發展の氣運に向ひ大正三年に於て漁獲高一百七十萬圓となれり要するに本島の漁業は概して幼稚なるが其代り養殖が盛に行はれて臺南より安平に掛けたる廣漠たる平原は湖水の如く見渡す限り雲に連つて際しもなき處は盡く養魚場にして其養殖場の面積は二萬四千甲一年の漁獲高百萬圓を算す

△鑛產　鑛產は金、銀、銅、石炭、硫黃、石油及び燐礦等にして金は產額の首位を占め、石炭及び銅之れに次ぎ以下は石油、銀の順位にして逐年發達し鑛區及び面積の增加と共に產額を增加す。大正三年產額は四百五十萬圓とし其の內金は一百九十萬圓石炭一百三十萬圓銅は一百萬圓なり其の產地を見るに澎湖島の石炭を除くの外は悉く北部臺灣に產す。

時局と教訓(五)

大戰と戰術の變化(下)

散兵壕に芝草—藥液のガーゼー—鐵兜
地中戰—森林中の砲列—ヴヱルダン要塞

陸軍工兵大佐　星野庄三郎氏
—東京、愛國社に於て—

毒瓦斯豫防器の變遷と效果

更に其散兵壕を見ると後方に芝と藁とを置いてある。是れも今回の戰爭で初めて出來た現象で、敵が毒瓦斯を流して來た時に其襲に點火すると瓦斯が燃ゐて其邊が無毒になるといふのだ。又、兵は各個に毒瓦斯の豫防器を提げて居る。此毒瓦斯は獨逸軍が英佛軍の接合點に流したのが最初の試みであつて、其時英兵の如きは驚いて三里も後退した。然かし今では豫防器を持つてゐるから左程驚かなくなつたが、攻擊する方でも初めはフォルマリン瓦斯、乃至は一酸化炭素と順次更へて行くので防ぐ方でも其らの瓦斯を中和する藥液を浸したガーゼを幾枚も疊み合せて瓦斯の流れの中に立つ時は其布で鼻孔と口を蔽ひ目は眼鏡をかけて防ぐといふ風に代つて來た。それからまた、此戰爭で鐵製の兜が用ゐられて來た。之は百分の六十五迄は敵彈の危害を免れ得る結果を得てゐるので、初め獨軍に次には英佛軍にも使ひ出した。

坑道戰と迫擊砲及手爆彈

それから野戰が斯樣に要塞戰的の性質を帶びて來た時、當然起り居るのは坑道戰である。地表面で幾何爭つたところで效果が無いとすれば自然坑道を穿つて敵の塹壕を破壞しそこから突入する戰術が出て來る筈である。從來坑道戰は概ね防ぎ得ないことになつてゐたが、今回の戰爭ではこれを追擊砲手爆彈の發達によつて防ぎ得ることになつて獨軍が佛軍の據つてる散兵壕攻擊の企てのあるのを音響で知り得た佛軍は步兵に手爆彈を持たして密集せしめ其後方から追擊砲を備へて待つてゐた。其時、敵は坑道を爆破すると共に、步兵をその新陣地に據らしめたので盛に手擲彈と追擊砲とで攻擊せしめ流石の獨軍の計畫が畫餠に歸したのである

航空器と森林中の據點

また此回の戰爭には飛行機が非常な發達を遂げた關係上、上空から陣地を偵察されるのを防ぐ必要から、據點を大森林の中に設け、森林の中に半永久的防備を施して、砲列を敷くといふことになつた。また數線防禦を設け敵が第一線を破つて第二線に至る途中敵の散兵列の側面から射擊して敵を斃すといふやうなことをやつてゐて尙詳細に申すことを憚るやうな種々の新計畫新機軸を兩軍共に出してゐる。斯樣な有樣であればヴヱルダン要塞の如きは名將ペタン將軍の下に於ける士氣の振興と相待ち陣地の堅固なる構築法のために容易に落ちなからうと思はれるのである

日報俳壇

椎子郎選

豆の花

雨の底に豆花もち今日も暮る　よしみ
豆咲くや家運隆がらぬ去年の儘　露風

海苔

浦かけて父祖より占めし海苔場哉　田打夫
海苔干すや貝殼付きし粗朶の垣　虛中子
海苔の香に出る雨待つ世閑　雲帝

農村革新の宣傳

愛知縣農林學校長山崎延吉著
農村敎育論
菊版箱入　定價壹圓九拾錢　送料拾六錢

農術、經驗、人格三者兼備りて著述初めて眞價あり我山崎先生の如くにして初めて眞に著を著すに足る人と謂ふべし、先生の農村研究に從事せらるゝ多年その感化を受けその德を慕ふこと赤子の父母に於けるが如し本書の如きは系統あり組織あり經綸あり熱誠あり先生の全智識全人格を發揮せる絕大文字と云ふべきなり敢へて世の農村研究者の一讀を薦む。

通俗孝子傳　石川弘著(最新刊)　四六判布製壹百頁箱入　定價壹圓送料八錢

農村道話

世に處しては必ずしも功を求めざれ、過ち無き便ちこれ功なり人に與へて德に感ずることを求めざれ、怨なき即ちこれ德なり、陳齊の野に迷ひ嘆聲を發せずゴルゴダに眠りて平氣の不平を抱かざりし偉人は、是れ古聖が心にあらずや、本著近時滔々として農村人心の墮落を慨し農村の根本的救濟は內なる人を救ふにありと爲し此書を公にし以て農村諸君に勸む
中村秋人著(最新刊)　四六判美裝三百頁　定價七拾錢送料八錢

田園趣味　**花園生活**

花園生活必ずしも長袖安閑の閑人が戲れに止まらない、一盆の天地に大自然を招來するの風流にも神秘の藝術を發見し、投げたる一苗の萌芽にも生活の躍を聽くことが出來る。一葉一花、蕾に宿る雫まで啜つて活きようとする同好の士は來りて此限りなき微妙なる自然の惠與を此書に得よ
トルストイ原著　京大哲學科專攻　塚本弘譯(最新刊)　四六判布製美裝箱入　價壹圓拾錢送料六錢

トルストイ民話集

トルストイ翁を學ぶのに翁の論文や小說からするものは譬へば翁を訪ふに玄關から入るが如きもの、其所に出て來る翁の姿は如何にも嚴正であるが其所は餘りに高遠である翁の民話から翁の眞面目を捕ふることは譬へば露臺の一夕明りの中で茶話に耽る翁の思想人格を覗ふ事が出來るのである今や世界文明の一轉期に際會し、絕大の偉人トルストイ翁の思想に參せんとするものゝ多きを加ふ、翁のより端的なる一面を知るによき此好著を大方の人士に勸む。譯者は淳朴なる翁の一信者である。
「都會及農村」編輯部譯(最新刊)　四六判布製箱入　價金六拾錢送料六錢

英國の田園生活

本書は英國田園生活中の行事を網羅する者にして、篇中古きは二千年以前の共產耕作より最近時に至る英國農業の發達史あり、此發達に伴ふ一般的の精細周密なる描寫あり、全篇五十章、行文平易にして何人の趣味にも適す。本邦譯書中唯一の海外農村事情誌也。農業從事者及田園趣味愛好者に勸む
大野藤男著(最新刊)　四六判四百五十頁挿畫四枚布製箱入　定價壹圓參拾錢送料八錢

趣味敎訓　**四季の田園**

機械的文明のみ昂進して趣味の文明之に伴はずば世は色も香もなく乾燥無味たり、米麥を肉體の食料とすれば趣味は精神の糧たり科學の智識が骨ならば趣味は此を保護し調節する肉とも云ふべし理論と趣味とは相俟つて初めて奧床しき文明を建設すべし。精神の食糧なる感情を養ひ趣味を培ふに自然と接觸し月雪花の神秘に共鳴して聖純なる天地の生活に入らんとする人の好伴侶、しかも本書は趣味の宣傳者たると共に自然と人生の親和の途を啓示する懇篤的敎訓なり

發行所　東京市麴町區平河町五丁目　振替口座東京二〇九一四番　洛陽堂

朝鮮彙報

朝鮮彙報　大正五年六月一日(定價貳拾五錢　郵稅二錢五厘)

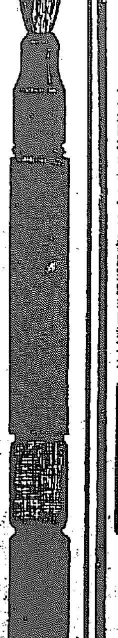
主要目次

◎口繪(金剛山に於ける鐵道連絡合議員一行　朝鮮風俗(三色版))
朝鮮米の內地移入稅復舊案に就て……荒井度支部長官
朝鮮の上水……田中丸總督府囑託
六典の最後に過渡の時代あり……淺見高等法院判事
◎大正五年度臨時恩賜金豫算の梗概◎篤行者事績◎四月中の朝鮮貿易◎東京に於ける朝鮮米概況◎大阪對朝鮮貿易
慶尙南道畜產事情……野口總督府技師
◎大正四年蠶種製造狀況◎豆類實收高◎大豆粒選實施成績◎下付植林樹苗成績◎日支鐵道連絡運輸◎四月中の鐵道運輸◎水道工事功程◎敎授資料平壤地方習俗◎社會敎育施設◎補習敎育◎モルヒ子慢性中毒者治療の狀況◎賣笑婦健康診斷狀況◎製鹽業に就て今津技師◎シンナムの染色實驗上田助敎授◎勸業模範場小作人の貯金成績向坂技師◎滿洲通貨一斑朝鮮銀行調◎東洋の日本◎波蘭占領地に於ける獨逸の施政◎地方通信◎雜報◎統計◎法令及通牒
大正五年度臨時恩賜金豫算及事業概要
朝鮮語の研究……新庄通譯官

▲投稿を歡迎す　原稿締切期限每月十日
▲販賣店　東京神田淡松堂、朝鮮各地の書店に販賣す
▲廣告料　一頁十圓　取扱店　京城　ウツボヤ書籍店

朝鮮彙報特別號　六月十五日發行
紙數約二百頁——定價二十五錢郵稅二錢五厘
◎口繪　藥料植物
朝鮮に於ける地稅制度の沿革……藤川度支部稅務課長
鷲峰(咸鏡南道平安北道界)植物調査……中井理學博士
朝鮮の山野より生產する藥料植物……石戶谷總督府技手

萬年毛筆　「タイヨー」



新案特許三六二九八號
▲六月十五日迄　特價六十四錢　替穗金八錢
京城日報社代理部

二男爵十博士　共編
日本　大增補　模範英和辭典

▼舊きを去つて新しきを取れ▲

模範英和辭典の發刊以來版を重ぬる事十五、其數殆ど拾萬なるを知らず。眞に出版界のレコード破りなり。然れども時勢の推移と共に內容を改め最新語の增加に努め、更に面目を一新して完璧を期するは出版者の義務たらずんばあらず。舊きを棄て、新しき進步したる辭書を求むるは知者の業なり。今や本書の注文殺到して巨數を占む、實用なる新書機を逸せず速に申込まれよ。

(頁數二百六十三・語數貳萬增加)
どこが特色なるか
▲純日本語を以て譯し漢字には假名を附す
▲最新語の蒐集に努め專門學術語を網羅す
▲發音記號は正確にして一新機軸を出せり
▲前置詞用法に注意し熟語慣用句の數夥し
▲多數の意義ある語には成るべく用例を示す
▲外國地名人名一覽及類語對照表は新工夫

價格及內容
◎萬部限特價提供
特價金壹圓八拾錢
正價金貳圓貳拾錢　送料內地拾貳錢
頁數二千二百九十　挿圖四千

發賣　東京神田　株式會社三省堂
電話本局二七一一・二七四九
振替東京三一五五五

面目一新　趣味の豐富　材料の豐富　共に美術界の一大權威
月刊雜誌　第六號六月一日發行　每月一回
美術界
三府諸大家の書幅數十點を寫眞版とし遠隔の地にても安心して優秀なる眞筆を永久保證附の書畫を至廉に購入するに至便也　書畫界の高事逸話其他趣味深き記事等を合せ每號約六十頁の好雜誌
定價一部十五錢一ヶ年一圓八十錢郵稅共　見本は郵券十五錢にて送附す
大阪周防町心齋橋西　美術界販賣部

▲現物界　[illegible]

八日の八月限

寄付	十一圓九十七錢
止	十一圓九十五錢
高値	十二圓〆六錢
安値	十一圓九十二錢

七月限　三萬千八百石
八月限　一萬二千石

◎首相邸長時間協議

大隈首相は八日午前宮中退下後官邸に入り石井外相大島陸相の來邸を求め三相鼎座長時間に渉り協議する所ありたり(東京特電)

◎黎假大總統就任式擧行

黎假大總統は七日午前十時各文武官を集め就任式を擧行せり(北京特電)

◎黎氏の對政方針三綱

黎元洪氏は六日某政客に語りて曰く今後對政方針として一、責任內閣尊重 二、舊國會召集 三、北京市況救濟の三綱を以てすべしや(北京特電)

◎北京避難民絶えず

市民の汽車にて各所に避難するもの絡繹として絶えず公使館區域內外の旅館は避難民の爲滿員となれり(北京特電)

◎北京と守備兵配置

列國居留民保護の爲め此際萬一を慮り北京各處に各駐剳守備兵を駐屯せしむるに決定せりと(東京電報)

◎兩黨豫選會とル氏

市俄古共和黨及び進歩黨の大統領豫選大會は別々の會場に於て殆んど同時に開會を宣したり兩黨共開會の辭に於て其の融和を力説せるがやがてルーズベルト氏は世界に於ける市民として第一人者なりと推奬せらるゝに及んで進歩黨は狂喜して之れを迎へたり(紐育電報)

◎獨軍豫備隊の全滅

ヴエルタン方面の猛擊

ヴエルダン方面に於て獨軍は猛烈なる砲擊を行ひたる後密集部隊を以て屢々攻擊を行ひ又た燃燒液有毒瓦斯を盛に使用したれども一も奏効せず六月二日獨軍はヴオー要塞の北方塹壕に侵入したれども要塞其他の部分は頑强に維持せられたり佛軍は猛烈なる襲擊を行ひ獨軍に多大の損害を與へたり獨軍豫備隊の全滅は多數の師團が連鎖的にヴエルダン方面に輸送せられたる事にて明白となれりデーリーニユスの所報に依れば獨軍は東部の戰場より數個軍團を移送せるのみならず墺軍の重要なる部隊をも此の方面に輸送したり(巴里電報)

◎三派首領の申合

三浦觀樹將軍邸に於ける同志政友及び國民三派首領の申合せ左の如し(東京電報)

一、國防外交を黨爭に供せざる事
一、實際問題に對し臨時此會合を開き相互意見の一致に勗む可き事

◎支那公使館附武官の更迭

八日支那公使館附武官左の如く更迭ありたり(東京特電)

支那公使館附海軍大佐 增田高頼
免本職
海軍大佐 伊集院俊
補支那公使館附

◎勳一等親授式

八日宮中に於て坂本海軍中將以下八名に對し左の通り勳一等親授式を行はせられたり(東京特電)

海軍中將正四位勳一等功四級 坂本一
授旭日大綬章
海軍中將從四位勳二等功三級 川島令次郎
海軍中將從四位勳二等功三級 吉松茂太郎
海軍中將正四位勳二等功三級 藤井較一
海軍中將正四位勳二等功三級 伊知地季珍
海軍中將從四位勳二等功三級 黑井悌二郎
海軍中將從四位勳二等功三級 野間口兼雄
叙勳一等授旭日大綬章(各通)
海軍造兵總監從四位勳二等功四級 種子田右八郎
叙勳一等授瑞寶章

◎勳章奉授式

八日宮中に於て左記諸氏に對し勳章奉授式を行はれたり(東京特電)

海軍中將從四位勳三等功四級 釜屋忠道
海軍少將從四位勳三等功四級 伊藤乙次郎
海軍少將正五位、勳三等功四級 千坂智次郎
海軍少將正五位勳三等功三級 岩村俊武
海軍少將正五位勳三等功三級 平岡貞一
海軍少將正五位勳三等功四級 田中盛秀
叙勳二等授旭日重光章(各通)

◎京城の保險界

京城府內に於ける生命、火災其の他の保險會社が大正四年中に府內被保險者より收入したる保險料は生命に於て二十九萬七千九百四十四圓零四錢七厘火災其の他に於て六萬七千九百三十六圓五十七錢合計金三十六萬五千八百八十七圓六十一錢七厘の多額に上り其の支拂たる保險金は生命に於て八萬六千七百〇四圓十七錢、火災其の他に於て十一萬九千六百四十三圓四十五錢合計金二十萬六千三百四十七圓六十二錢なりと而して大正四年末の現在契約高は生命一萬三千〇〇七件此の契約金九百十七萬九千七百四十二圓にして火災其の他は四千七百二十九件此の契約金一千二百六十五萬三千九百〇九圓〇五錢なるが此れ等の取扱店數は生命に於ては支店二、支部三、出張所五、代理店五、火災其の他に於ては出張所三、派出員一、駐在員一、代理店十四、外國會社の出張所一、同代理店四、合計三十九箇所なりと

◎預金と貸出高

鮮銀、殖工、普通の各銀行を合せる四月分預金現在高は公金、定期、當座、小額、諸預金を通じ總計四千三十二萬四千四百七十六圓餘にして前月に比し百七十五萬八千九百九十圓餘の增加を見たり、而して同月末現在の貸出高は政府貸上、定期、年賦、普通當座並に割引手形を合し各行を通じて五千六百三十六萬四千九百七十圓餘にして前月に比し百七十九萬六千七百九十九圓餘を減せり、右の外預金に於ては尙ほ郵便貯金八百五十八萬二千七百九十二圓、地方金融組合預り金二十九萬四千三百六十三圓を算し、又た貸付金には他に東洋拓殖會社の七百四十一萬三千五百七圓餘及び地方金融組合の二百十二萬七千六百四十六圓を有せり

◎屠獸場の買收

京城府の直營事業

京城府にては既報の如く六日午前十時より府協議員會を開會し本年度豫算更正の件を附議し同十二時原案の如く可決して散會したるが追加豫算の內容に付一協議員の語る所によれば更正豫算の歳入出追加額は約三萬餘圓にして右は元內田某氏の經營しつゝありし京城屠場を府に於て買收し本月より經營することゝなりたるためにして歳出は同場の買收費及び今後の經營費に充つるものなれども歳入にありては到底同場の收入を以ては不足を生ずるを以て起債によることに決定したる次第なり、因に京城內に在る四箇の屠獸場の內三箇所迄は府の直營となりたり

◎宮三面灌漑

東洋拓殖會社にて施工の計畫を立て居れる全南宮三面の平野二千餘町步の灌漑計畫は一兩日中總督府より認可あるべく會社にては其の指令に接し次第工事に取り掛る豫定の由

◎鮮鐵大阪出張員

朝鮮鐵道局に於ては這回大阪に營業課出張所を常置す可く不日營業課より出張員を任命する事となしたるが其因由を聞くに逐年朝鮮の産業開發經濟の進展に伴ひ內鮮間の旅客貨物連絡運輸の顯著なる發達を來し日滿日支及び日滿露等國際連絡は既に實施せられ强いで西歐連絡運輸も將に開始せられんとするに方り內地對鮮滿貿易の中心點たる大阪に出張員を駐在せしめ一般公衆に對し朝鮮鐵道使を周知せしむると共に常に海陸運送の趨勢を調査せしむるの必要を切實に感じ右の處措に出でたるものなりと而して大阪出張員の職能は主として一般公衆に對し朝鮮鐵道に據る可き旅客貨物の輸送案內を爲し苟も朝鮮鐵道の營業事務に關しては貨物の輸送旅客の取扱其他細大洩さず說明の任に當らしめ朝鮮經由又は朝鮮著旅客に對しては旅行時間賃金接續運輸の便旅行日程の作製旅客の案內等の需に應ぜしむる筈なりと

◎京城の道路工事

京城土木局出張所の所管に係る京城市內幹線道路工事たる鮮銀前より鍾路に到る施設は一兩日前朝鮮銀行前及び黃金町電車交叉點の二箇所より下水暗渠の掘鑿に取り掛れり今秋迄に南大門前後の如き設備をなすべしと

◎春川財界小緊

春川地方の近狀に就き漢湖農銀支店の調査によれば金融は小緊にして地方農民は貯藏大豆の出荷により商資金の流動を見たる外附近市區改正及び道路改修工事起り資金散布されし爲めに同地の市況振ひつゝあり而して地方貯藏米の出廻りも少なからずと

◎開城の電氣計畫

開城には內地資本家及び開城有力者合同の下に電氣事業の計畫成り道廳及び警務部經由此程遞信局に一件書類を廻附し來れるが當局にて審議中なり

◎機業授産生傳習

京畿道恩賜機業場は豫て卅五名の機業傳習生を募集し本月一日を以て豫定の人員を入場せしめ內鮮の教師指導の下に傳習中なるが更に近く工場以外の地に於て約卅名の自宅機業傳習生を募集し是等に對しては機具を貸與して原料を供給し一定の工賃を支拂ひたる上製作品は再び機業場に納付せしめ販賣するものなりと

◎濟衆病院と日語

南大門外なる濟衆病院附屬醫學校にては今回日本語の一科目を加ふる事となり同校教師には新渡戸博士內村鑑三氏等の同窓にて札幌農學校を出で多年山梨中學校長として令聞ありし大島正健氏傭聘の約成り氏は來る十日著任の筈なり同校に內地語の科目を置くは鮮人生徒に取り必要且つ有益の事として日本の普通學にも造詣深く且つ德高き同氏の就任は京城教育界の爲めにも誠に喜ぶべき事なりと

◎古阜水利組合長

全北古阜水利組合は最近同地にて總會を開き結果全北堤石川縣農業會社專務北尾榮太郎氏組合長に就任したり

◎林大使通過

駐伊大使より駐米大使に榮轉の噂ある林權助氏は歸朝の途九日午後八時五十分南大門著同九時十分發鮮滿直通列車にて通過歸東の筈

◎庄田大佐來鮮

參謀本部陸地測量部課長庄田工兵大佐は朝鮮土地調査地形測量に關する要務を帶び八日頃東京發十二三日中に入京の筈なるが調査局と事務打合せの上或は實地檢分の爲め地方に出づべしと

◎總長と公醫講習會

六月一日より開催中の警務總監部主催全鮮公醫講習會は來る十日を以て終了すべく越えて十二日午前十時より總監部に於て講習會員一同に對して一場の訓示あり尙十二日午後七時より右講師各警官等を初めとし講習員全部を朝鮮ホテルに招待して晩餐の饗をなす可し

◎驛長其他移動

七日附を以て朝鮮鐵道局にては驛長其他に左の通り移動を發表せり

免平壤在勤命營業課勤務 副參事 井上致也
免木浦在勤命平壤在勤 參事補 篠井温基
同 細井儀作
免釜山驛長命木浦在勤 書記 桂榮三
免元山在勤命釜山草梁驛長 同 西野清和
免平壤驛長命元山在勤 同 中山深也
免馬山驛長命鎭南浦驛長 同 春山清輔
命馬山驛長 營業課書記 中島雄二

◎府尹の宣教師招待

金谷府尹は松永新任道長官を紹介の意味にて九日午後四時より官舍に於て茶話會を催し在京城宣教師を招待し同時に各派牧師も陪賓として參列する筈なりと

◎平壤丸船長懲戒なし

去る二月神戸にて日本郵船の春日丸と衝突せし朝郵平壤丸船長楠瀨直太郎氏に對する海事審判は七日開廷の結果船長に過失なき事判明無懲戒となれり

◎仁川商議評議員會

仁川商業會議所臨時評議員會を八日午後二時より開會し來る十三日松永京畿道長官夫妻來仁に付仁川有志相謀り同日歡迎會を開き港內に於て舟遊びを催し道長官夫妻を招待の件を協議したり

◎大阪財界通信

△對支貿易の趨勢 目下南支一帶は動亂の渦中に在りといへども獨墺品の代用品として本邦品需要の增進と綿絲布類の新販路の開拓によりて長足の發展を促進しつゝあるが五月上旬中輸出入總額に就きて見るに輸出高は二百十三萬七千三十圓にして前年同期に比すれば實に百六十一萬六千二百圓の激增にして一月以降の累計二千四百九十七萬二千七十二圓前年同期累計に比すれば六百二十六萬二千二百二圓の增加にして輸入總額は九十一萬三百十七圓前年同期に比すれば四十九萬七千六百四十圓の增加にして一月以降の累計は千百五十二萬七千四百四十四圓前年同期累計に比すれば五百三十七萬五千九百五圓の增加なりと

△海運界の現狀 遠洋航路一時は貨物大に輻輳し天井知らずの有樣なりしが最近米國航路にて船腹過剩となり某船の如き滯貨蒐集の爲めに一時立往生の體に陷るのみならず爲めに各方面とも氣配軟弱傭船界も二割內外下向きたるも船主側は至急を要する需要品輸送一段落を告げたるため一時的現象として早晚復舊すべく昨今パナマ運河に故障生せし等にて何れも前途を樂觀せる上七月頃に貨付期の來る船舶はそれ〲既にチャーターの先約濟みの事とて昨今殆んど手合行はれず且賣買界も亦双方睨合の姿にて同樣閑散なるが外國船の賣方を申込み來れるもの相變らず相場强硬なりと

△奧村の砲彈製造 京都の奧村電機商會は露國より砲彈の製造を請負ひ新工場を設けたるが是れが能率は一箇月千發を製作すべく而して其成績未だ請負契約も完全に成立せざる場合豫測するを得ざれど廣瀨滿正氏より豊富なる資本金を註入す

△セメント活躍 近時諸工業の隆興に伴ひ工場建築若くは增設のためセメントの需要增加せると印度濠洲南洋諸方面の需要旺盛なるより市價引締り昨今四圓二十錢を唱へ前途尙昂進するならん結局共同販賣の計畫は畫餅に歸するならん

△羊毛競賣開始 濠洲羊毛競市は禁輸騷ぎに一時延期となり當業者は懸念しつゝありしが六月七日より三日間開始するに決し既記三萬五千俵を賣出す事となりたるが競買國は日英兩國に限られ居る上日本の購買力は精々四五千俵を出でざれば價格は多少弱含みならんか(大阪支局)

人事消息

▲鍋島直映侯 八日夕平壤より歸京
▲中村純九郎氏 八日南大門通過內地へ
▲宇垣少將一行 八日夜入京龍山井出軍經理部長官邸に入る
▲佐々木藤太郎氏(慶南道長官) 入京中の處八日夜歸任
▲水谷千萬吉氏(平壤商業所長) 同上
▲內田良平氏(黑龍會長) 九日朝滿洲より入京巴城館に投宿の豫定
▲石黑滿一郎氏(辯護士) 入京中の處八日夜退京
▲中米鐵一郎氏(久原鑛業技師) 九日夜入京天眞樓に投宿の豫定
▲藤岡參政官▲山田英吉氏 八日夜入京朝鮮ホテルへ
▲ジョンストン氏及び令嬢(米人) 同上

◎南言北語

袁總統の逝去はドッと押し寄せた海嘯が一時に引き去つた樣な氣がして▲靜まつた樣な靜まらん樣な不安な樣な不安でない樣な氣もする▲餘り突然だつたから南方の連中もオヤ〱と驚いて居るのだらう▲其れに相手のない喧嘩は出來ないからナア▲と云つてオイ其れとまさか革命軍も手は引くまい▲其の中でも一番困り切つて居るのは倪嗣冲だらう▲革命黨に前後を包まれた上に袁總統には死なれほんに立つ瀨がないとは此男だ▲其處になると奉天の雨亭先生は宙返りの名人丈けあつて昨日迄袁總統の袴の紐迄も締めようと云ふのだつたのに▲今日は總統の逝去は自然の運命のみと空嘯いた處は木葉落しの妙所を見せた處▲だが誰れも喝采をするものがないから豪語はしたもの、餘り氣持はよくあるまい▲此程體裁よく米國をおつ拂はれた前駐米獨逸大使館附海軍武官オイエド大佐が歸國すると獨帝は早速謁見を命じて黑鷲三等勳章と一口の軍刀を與へた▲而して其の添へ書に「米國に於ける活動に對し云々」とやつて居る處は米國に對する面當▲のみならず米國を侮辱した處は何處迄も人を人とも思はぬ仕打ちだヴイラの鬼首に四萬ペソの懸賞をかけた米國政府は▲其後ヴイラの屍骸は勿論足跡さへも發見されない其處で兵力を以てしてもペソを以てしても猶ほペソをかきつゞけて居るのは笑はせる

東洋大學教授 加藤咄堂先生新著 定價八十錢 郵稅八錢
劍客禪話
人の社會に立つや其生活は命懸けにして其の處世は眞劍勝負なり一歩を過れば喪身失命忽ち人生の劣敗者たらざるを得ず本書は兩々相交るの中に秘術を盡すの劍を說くと共に生死岸頭に自在を得るの禪を語る劍客の逸話禪僧の垂示此劍禪一味の間に處世の要訣生活の妙論は存す一讀趣味溢れ教訓滿るを覺ゆ
▼加藤咄堂著 通俗講話の理論及方法 價九十錢 郵稅八錢
京城 大阪屋號 東京小石川區原町 丙午出版社

六月號出來 趣味の世界
◎初夏のことば 芳賀博士 ◎日本の女 ▲人 ▲書畫 ▲書法 ▲小鼓 ▲詩話 ▲作法 ▲煎茶 ▲季節生花 ▲投入 ▲源氏 ▲歌 ▲裾野紀行 ▲帝劇 ▲小說 ▲料理 ▲園藝 ▲撫子 ▲琴歌
定價一部二十錢 東京芝區 趣味之世界社

ビールの友 海老あられ かきもち 花あられ
龍山老松町 製造卸商 谷野商店
(此廣告切拔き御注文は格安に取引仕候)

實業之世界 六月一日號 定價三十錢
人物經濟 三宅博士▽學窓から社會に出た最初の感想 數氏▽論語算盤說 澁澤男爵▽地方商店を東京式に經營する經營法 高野依秀▽二萬圓を十年間に一千萬圓にした九州第一の船主 記者▽臺灣開發策▽新時代に處する青年の覺悟 高橋是清 此外 附錄府縣版 岡山號
東京 實業之世界社

東京藥學講義錄
▲本會講義錄は內容豐富如何なる初學者にても修得容易也見本付會則進呈要郵券二錢
▲講師は第一流藥學士專門大家十數氏各學科分擔執筆
▲藥劑師志望者にして通學の餘暇なき者は速かに入會せよ通學生同樣其目的を達せしむ
▲本會講義錄は職業の傍ら受驗者の實典
此際入會者に特典あり
東京神田表神保町廿五 東京藥學會

內科 小兒科 皮膚病 花柳病 入院隨意
京城日出小學校前 多々見醫院
院主 醫學得業士 多々見五郎 電話九四〇番

日韓書房 新版報告
白柳秀湖著 新體 二千六百年史 特價一圓五十錢 送料二十錢
英朋著 うた姿 定價一圓五十錢 送料十二錢
中川靜著 信書精鑑 上下卷 特價一圓八十錢 送料廿八錢
婦人記者 化粧日記 續お目見え 定價三十五錢 送料八錢
今村猛雄著 誰にも作れる 野菜畑 定價一圓 送料十二錢
京城本町二丁目

營業品目
肥料部 蒸製骨粉、乾血、蹄角粉 星印配合肥料、細工用地骨 細工用蹄角各種膠及膠原料
石鹼部 化粧用石鹼、工業用、家庭用石鹼、浮石鹼、粉末石鹼 牛脂、椰子油、鯨油、其他油脂類、苛性曹達、洗曹達
京城東大門外紅葉町 朝鮮肥料製造所 電話二六三五番
京城岡崎町一四番地 朝日石鹼製造所 電話二五六四番 同九七三番 振替口座京城四〇〇番

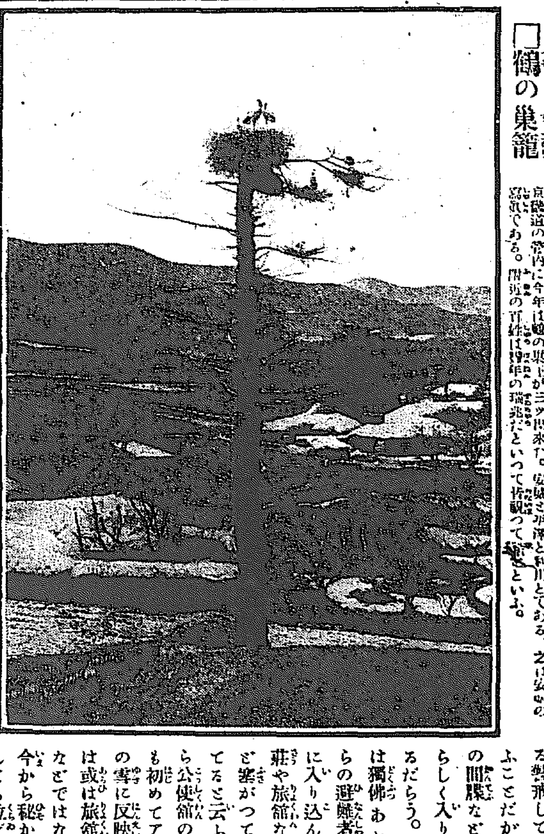
◎酒に命を取らる

◎支那人牛肉商へ訓示 京城本町警察

楼主逃に對する賭博事件の判決は六日平壤地方法院に於て左の通り判決ありたり

島面德淵里二統五戸金元浮方より去る二十三日午前四時頃出火鮮式家屋二棟を燒失せり原因は

□鶴の巣籠



京畿道の管内に今年は鶴の巣が三ツ出來た。安城と平澤と利川とである。之は安山の附近の百姓は豊年の瑞兆だといつて悦祝つて居るといふ。

瑞西へ
交戰諸國に取圍れた世界中類の無い小國
獨佛の捕虜交換所
新任瑞西公使　三浦彌五郎氏談

十餘年前になるが僕が外交官補の時南米ブラジルの開館に今の内田大使が公使で行つた時は新しい使館ではあるし大に日本の事物を紹介する必要があると云ふので屏風から額から机椅子の如き裝飾的の物を總て日本で仕入れて行つた事があつた、併し

今度は戰時中で

はあり運賃も馬鹿に要るから大抵のものは瑞西に行つて買込む事にして今の屏風だとか云つた樣な御國風のものは戰爭でも濟んだ後から送つて貰ふ事にして唯手廻りのもの丈けは用意して行く事にし硯など四個も持込んで來た。其他印肉、筆墨、紙の如きも先づ館員四人前の三箇月分餘り用意して來たし其れに

公使館の存在を

明かにする爲めの日章旗は勿論御眞影も捧戴して來た館員は書記官、通譯官、外交官三人で奉天と邏羅の盤谷と倫敦とから集まる事に爲つて奉天と盤谷からは、一應東京に歸つて後からやつて來る手筈だが倫敦から迄行くと連れが一人出來る譯だ。瑞西と云ふ國は戰爭中丈けは斯くも面白い處だらうと思ふ今迄は墺斯太利が管掌してゐたが戰爭と同時に書類など一切一纏めにして其儘米國の大使館に預け込んで佐藤大使は歸朝してるし其餘は

伊太利の林大使

の處に託してあるのだが別に引繼と云ふ程の事も無かつた東京にある書類丈けは今迄セツセと讀んで來たのだ。其爲めに赴任の時が遲れた樣な譯だ。瑞西は西が佛蘭西、北東が獨逸東が墺斯太利、其れに南が伊太利と云ふ總て交戰國で取圍まれてる國で世界中餘り類の無い小國だが其れでも國民皆兵で士民兵三十萬は今日迄固く中立を維持して來てる日本とは

通商條約も交換

され貿易は直接日本から輸出するのは餘り多くもないが其れでも佛伊を通過して絹類が可成りに澤山入つてる日本に出すものでは第一に時計類、其れに獨逸なぞと同じく染料が盛に出來るので其れも隨分日本に入つてるし其他諸機械類も相當に來てる瑞西では地勢上都合がいゝので今迄各種の國際的會合が催ほされて來た、郵便とか衞生とか云ふ萬國會議で

戰爭でも濟めば

又大に開かれる事だらう今度の戰爭の媾和會議は無論何處か今の處判斷はつかないが先づ瑞西か和蘭かと云ふ見當だ米國であるかも知れないと云ふ人もあるが米國は英國、獨逸、墺斯太利と各交戰國に頻りに抗議を出してる關係から先づ避けられるさうとすると瑞西と見るのが至當だらう、とすると瑞西か和蘭あたりに廻つて來るかも知れない、戰爭が濟めば今の樣に折々列國會議の會場と爲る位で平時は

避暑地や避寒地

として名のある處だから別に大した事もあるまいが戰爭のある間は兎に角他所の國で見られない事も見られ樣と云ふものだ何でも獨佛が捕虜の交換をやつたりするには皆雙方から瑞西に連れて來てやるさうだし又獨逸に輸出しやしないかと云ふので佛蘭西などは瑞西に對する輸出品に頗る警戒してると云ふことだから列國の間諜なども素晴らしく入り込んでゐるだらう。昨今では獨佛あたりからの避難者が盛んに入り込んで、別莊や旅館など殆んど塞がつてしまつてると云ふ事だから公使館の日章旗も初めてアルプスの雪に反映するのは或は旅館の屋上などではないかと今から秘かに心配してる位だ。

恨は長し玄界灘
哀れなる船長の妻

陸軍運輸部所屬新高丸船長上野可孝の妻きく子(二八)は二十九日附添人と共に宇品より上州丸に乘船したるがきく子は數日前より腹膜炎の氣味にて氣分勝れず宇品にて醫師より三回の注射を得辛うじて一時の苦痛を醫したるも門司に寄港の際附添人より頻りに上陸治療を勸めしも一日も早く夫の膝下に著し縋るゝゝ治療し度しとて遂に其儘出帆したるが玄海に差し掛る頃病勢俄に革まり重態となりしかば同船の有馬藥劑官は携帶の要藥を與へ種々介抱を盡し最後にカンフル注射までなしたる効もなく卅日夜十二時頃敢へなく黄泉の客となりたれば船客始め乘組員等は大に同情し船中にて凝棺を作り屍體を之れに收め心許りの水、蠟燭、花線香をも供へ手向け又各船客よりの香奠をも供へて通夜するもの多かりしが一日午前青島入港の上良夫なる上野可幸が引取り午後自宅出棺東鎮火葬場にて葬儀を營みたりと（青島）

濡手で粟の千圓
民籍謄本を僞造して金貸を欺く

住所不定自稱顯周事孫吉男(二)は吳某と共謀し土地所有權保存證明書、民籍謄本を僞造して之を携へ五月八日京城仁寺洞の金貸業中佐鐵方に赴き全南長城郡北上面上德里金相源長男金良燮と詐稱して手製の民籍謄本を示し居里所在の土地三百十五斗落餘を擔保として提供するに付き金三千圓を貸與し呉れと申込み結局一千圓を借受くることゝなり殘額は貸主に於て實地踏査の上交付すべしとて其調査旅費、仲介料利子金前引等を控除し現金五百十圓を受取りたる上罪跡を隱蔽せんと奸手段を廻らし居れる所を貸主が實地踏査の結果發見し孫は鍾路署の刑事に引致されたり

一夜に四箇所を襲ふ
放火して逃走

慶北慶州郡川北面毛兒里居住幸在癸方へ去月卅一日夜一時頃三人の賊襲來し中一人は門前に見張りをなし他の二人は中に入り折り柄就眠中なりし辛を呼び起し食刀を眼前に突き附けて脅迫し同人の腰にせる巾著を取り在中の十七錢を奪つて何れか逃走し同夜二時頃又同地崔龍壽方へ三人の賊入り來り崔に向ひ所持せる食刀及び米差しを以つて脅迫し現金四圓在中の巾著を強奪して逃走し同夜三時頃同郡江東面虎鳴里安鐘伊方に二人の賊入り來り腰紐にて安の首を絞めなほ出刃庖丁にて脅迫し出金を迫まりしも安は無一文なりと答へたるにぞ賊等は然らば六月二日の夜三時頃までに安溪里池の下まで金二百圓を持ち來るべしと稱して立ち去り間もなく同郡川北面舊世里俞致泰方にも三人の賊入りしを家人に發見せられて目的を果し得ず松葉に放火して何れにか立ち去りしが犯人不明なり

食刀で威嚇す

慶北錦山郡錦城面陰田里崔朴成來(二七)方には去る廿八日午前二時頃熟睡を見計ひ二名の強盜一名は棍棒を一名は食刀を携へ室内に侵入し家人を毆打したる上蒲團を上より覆せ金員を出さゞれば殺害すべしと脅迫し家内を搜し廻り現金四圓を強奪逃走せしが又た同郡同面任成局(一七)方にも同日前記朴成來方より約三十分餘を後れて強盜侵入し一名は戸外に見張をなし一名は食刀を携へ屋内に來り金員を出さゞれば毆殺にせんと脅迫し限なく搜索の上漸く金指環一個を奪取して行衛を晦ましたり

□江華島の王宮趾
林野調査班が端なく發見

□江華島は高麗時代に蒙古が侵入したとき高祖王の蒙塵した地だが其の宮趾は何處に在るか今日まで判らなかつた

□然るに山林課の林野調査班が此地を實査した際、郡廳の東南、高麗山の麓、府内面宮廳里に數個の礎石や瓦や高麗燒の破片などを發見した

□そこで段々調べて行くと閔商起といふ民家の邊りが其宮趾だつたことが判明した

□加之、例の問題となつてゐた高句麗時代の穴口縣趾も邑内面から西南に當る穴口山の南方、佛恩面正門洞附近だといふ事が確められた

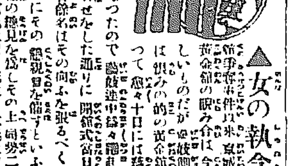
□上林山林課長は眼を細くして喜んで語つた

大邱地方の微震

八日午前十時六分頃大邱に於て微震あり同地測候所に於ては人體に感じ且つ地鳴を伴ふ微震を觀測せる旨觀測所に報告ありたるが仁川の觀測所の微動計には何等の感震無かりしを以て見るに微弱にして震動區域狹隘なりしものならんと

前科三犯の賊

仁川水門町生れ住所不定の金京華(二)は窃盜前科三犯あり本月三日夕刻京城長沙洞鄭德元方に忍び入り衣類一枚を窃取して逃走中を鍾路署の刑事に取押へらる



▲女の執念

黄金館事件以來京城花柳界と黄金館の睨み合は今日まで久しいものだが遊廓側に於いては恨みの的の黄金館が出來上つて愈々十日には落成式を擧げる事となつたので藝妓連中益々躍起となり最初に申し合せをなした通りに開館式當日には三券番の藝妓百餘名はその向ふを張るべく新券番の總見を爲しその上同券二百餘名が黄金館附近に頑張り開館式に行く客を黄金館なんかに行かないで正館へおいでなさいと引張り込まうといふ手筈になつて居るとか、恐ろしいのは女の執念、黄金館に對して何んさか對抗運動を起すだらうが更に向十日の午後一時頃殺鋸してウッカリ櫻井町邊を通る者は美人連中から脅かさる覺悟を要するとの事

▲雲の乘込

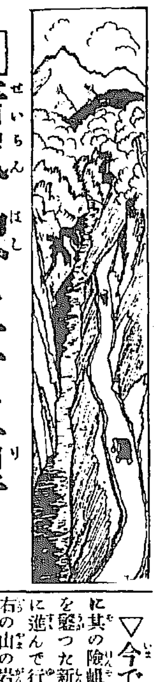
△大正館　六月九日より全部新寫眞と差換へたりその主なるものは左の如し△實景海水浴場の賑△滑稽アルマーの市巡り飛行△發湖八景巡り△新派悲劇湖の花全三卷三十七場△義士銘々傳赤垣源藏一代記

桃中軒雲右衛門は淺野一行を引連れ巡業のため去る六日東京を出發したるが八日朝釜山着同地に四日間興行の上京城に乘込むべし

△浪花館　如燕一行にて興行中なるが今回は特に入場料を破格に引下げ一等二十錢二等十五錢となしたる爲め夜大入を續け居れり

キッチナー元帥の陶器好きは有名なものだがそれには條件があつて康熙乾隆時代のものだけを集めるのださうだ▲四十二年に東洋に來た時も北京に滯在して居つて奉天に行かないかと誘はれたら「陶器でも呉れるなら行つてもいゝ」といつた位に好きだつた▲東京に來てからも前田侯爵邸などを訪問したけれども一般の美術骨董品には根つから趣味を持つて居ないので侯爵邸の珍藏品なども詰らない顔をして見て歸つた▲それから故井上侯を訪問した時には珍藏品の中から唯だ一つ陶器を發見して「これはいゝ」と初めていつた▲其時仲通の骨董屋が來て居てこんなものは幾らでもあると答へたら元帥は今から直ぐ案内しろといひ出した▲井上侯は午餐の用意が出來てるからそれを濟して行くようにと進めたが元帥は『此頃は忙がしくて困る食事も省いて陶器漁をしないと暇がないから』と暇を告げて出て了つた▲處が仲通の骨董屋には瓦落多物ばかりしかなかつたと旅館に歸つてプリプリ怒つて居たのでさる人が一體何の利益があつて陶器を集めるかと聞いたら其返事が元帥の氣象を遺憾なく表して居る曰く「陶器は第一物言はず第二には手が掛からないでいゝ」と

□青嵐を馭る二十二里
楊柳依々たり春川の路



三、靑葉七里の峽中

加平を出でゝ春川まで七里の間は所謂朝の巫峽である、春川耶馬溪の絶勝である、靑葉七里の峽中である、濟冽なる漢江の水は淙々の音を立てゝ流れ下る江上には櫓を休め流れに任かせて下る

▽柴舟や眞白な帆△

赤い帆を揚げた船、或は長い綱を付け十數人で曳き上げて居る船などが夏木立の繁みの中からちらちらと見はてゆく、自動車は江を右手の谷底に見ながら上流に向つて進む兩岸の山は深い綠に包まれて峽中の空氣は凡て翠りである、脚下の水に近かく不如歸の網を裂く如うな聲が折々聞ゑて來る、江の中には幾百千年水に磨かれて丸味を有つた

▽奇なる巖石が△

突立つて居る、山襞を切り爽げた道路は何處までも平坦に續いて山と水とは刻々に姿を變へ貌を改めて迎へて呉れる、たゞ江岸の白い砂と、碧き水と、青い木立の繁つた山とは濃の柔らかなのと同じ樣に何處までも續いて居る保安里から左へ道入る溪の中の小徑は江岸道路の開鑿される以前の春川街道である、八席破嶺の險は此の街道に當つて居る

▽今では自動車上△

に其の險岨を語りながら三鶴山の右を鑿つた新道を辷べるが如く安らかに進んで行く、江は愈々奇にして左右の山の岩層は河底に連らなつて水底は櫛の如く一枚岩に爲つて居る、三鶴山は山巓が三つに分れ江に面したる許多の溪谷は何れも奇にして譬へば金剛山の萬二千峰を横倒しにしたるが如く奇岩横に亂出したる澤が幾箇所となく現はれて來る三鶴山上には

▽上院寺及興福寺△

等の寺あり、夏時暑を避けるに最も好しと。溪の間には翠りに迷ふ鶯や、愛らしい山鳩などが鳴きつれて飛び。みぞ萩の花が早くもこぼれ咲いて居る、對岸から十三町山に分け入ると其處には九曲の瀑布といふのがある風景最も好しとの事である飽く事なき山と水の姿を眺めながら進むと兩方の山は

▽漸く相迫まつて△

其の盡くる處左右、門の如く巍然と突立つた奇巖が有る、之れを衣岩と云ひ又衣岩門とも稱して居る遙に望むと左は巨人の立ち上りたる如く右方は箱を積上げたる角の如くである其間極めて狹く漢江は此の間を流れ出づる傳へ云ふ春川平野は大古湖水の時代ありしが此の衣岩の決裂と共に湖水は流れて漢江となり

▽湖底は春川平野△

となりしと何ぞそれ甲州平野の湖水に酷似したるや、甲州平野より流れ出づる富士川は人工を以て鰍澤の爲の湖の岩を決したるものなるが漢江の衣岩は水力の自然に決裂したるものにして左右の岩、河底を通じて斷層相等しきを見る此附近峽の終る處、奇勝亦峽中に冠絶して居る

▽衣岩の岩門を出△

づれば一望曠々たる春川平野を望む思はず快哉を叫ばしむ、新延江の渡船は自動車のまゝ人を乘せて渡り大道約一里孔之川橋を渡れば即ち春川である（をはり）

讀者文藝
（一等には金十錢の書籍券を呈す）

▼俗謠　題『簾』

○懸けた簾は見透く貧の苦勞見せまい裏表（一等）　京城　うつゝ
△風がさそへば簾に斷いた波が涼しく動き出す　龍山　金波樓主人
△廢物館の小窓にかけて月に遊戲の宵簾　京城　爽竹
△流す踊唄篁ふて船の簾靚いた柳島　京城　大島紫流
△新氏行燈のさもし火ゆれて簾曲もれくる香簾　鳥致院　田宮生
△何が腹立つ若葉の風からけて簾がふくれ顔　龍山　小草子

川柳『壁』　締切八日發表十日
物は付『御餅で見度いもの』は　締切八日發表十一日
一口噺『朝鮮に關して』　締切九日發表十二日
謎『初夏の滑涼をかけて』　締切十日發表十三日
狂歌『蚊』　同十一日　同十四日
次回俗謠『移』　同十二日　同十五日
はめ爲　同十三日　同十六日

■募集規程　▲用紙は端書又は同型の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲賞品は一週間後▲掲題の異る毎に用紙を更ふる事但し一種二句以内の事▲此規程に遵はぬものは沒書

京日案内
普通（一回前金三十錢無割引　匿名一回毎に金五錢増）
番外（一回前金六十錢無割引　匿名一回毎に金五錢増）
▼申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず

普通

◎女事務員　至急入用高等小學程度以上給料面談　▲暮階町日ノ丸旅館内　限本　368

洋食下さい　朝鮮芝居御見物の序に御立寄　京城昌德宮口團成社側　オクタ　371

醫士雇たし　但し年長者にて隱居仕事に給料を取らんとする者家族及履歴書送れ給料照會の上　姓名在社　374

店員入用　十五歲以上二十歲迄　龍山鐵道構内電車終點　稲屋雜貨店　電話五〇二番　372

◎店員入用　市内に確實なる保證人を要す　市内南大門通三丁目　鍋島商店　電話一〇三八　369

▲獨文醫學叢書　▲全十五冊もの　▲古本出物あり　▼京城本町●電二五一七●ウツボヤ書店　320

◎帳簿係　男子又は有夫の婦人二名採用　有經驗者履歴書郵送ありたし　南大門驛前　協同組運送店　354

◎古本高價買入　▲勉強是非御試賣を乞御報即刻參上　▲京城本町　電話四一七八一番　群書堂　348

番外

内科　小兒科　女醫　川崎朋子　京城明治町二丁目　長電話一五〇四番　375

見習看護婦募集　年齡十八歲以下身元引受人を要す　本町二丁目浦尾旅館向　京城醫院　376

外交員募集　但し市内に相當の知己あり外交に經驗あるもの　京城本町二丁目　町田新聞部　373

▼鑛物買入所開設　電話架設中　京城太平通二丁目五十八番地　鑛物賣買商行　370

●京城廣橋自動車組　京城春川間行自働車賃金片道四圓　京城發午前八時◎春川發午前八時　南大門通二丁目　電話二一九番　主務　金正淵　322

家傳　りん病三日藥　輕症三日全治　服んで即日効驗ある不思議の妙藥　京城明治町二丁目四二明治旅館事　朝鮮發賣元（電二〇三五）木幕ケイ　473

恩給年金類　長期低利立替　短期保險不用　市内土地擔保低利金融す　京城南大門外（舊御成町）　山口屋　339

◎獵犬　狩獵上必要なる技藝を家庭訓練教授す　料金一ヶ月六圓五十錢　食費前付　希望者は御一報あれ市内は參堂可致候　京城岡崎町三七　松村獵犬養成所　350

カシ地　古市町電車通約二百坪　水標橋黄金町筋北へ入る十一間約五百坪地料抵廉便宜分貸　與の御相談に應ず　蓬萊町二丁目電話二二三番　川澄　351

桑苗　荷著子種　高知本場桑名古屋産共　京城　勸農園　電話七〇四　振替京城五六　363

京城春川間　乘合自働車　◎京城發午前八時◎春川發午前九時　賃金片道四圓　京城水標橋通り　電話貳壹參八番　◎春川自働車商會　支配人　松田壽男　50

五龍背温泉

京城府公文

京城府告示第十一號
京城府以外ニ於テ府金庫ヲシテ收納事務ヲ取扱ハシムヘキ左記場所ヲ設シ其ノ期間左ノ通定ム
大正五年六月七日
朝鮮總督府京城府尹　金谷充
一　臨時　京城鍾路消防詰所内　京城府鍾路通　自六月七日至八月十五日期間

京城學校組合公文

京城學校組合告示第十號
京城學校組合以外ニ於テ組合金庫ヲシテ收納事務ヲ取扱ハシムヘキ左記場所ヲ增設シ其ノ期間左ノ通定ム
大正五年六月七日
朝鮮總督府京城府尹　金谷充
一　臨時　京城鍾路消防詰所内　京城府鍾路通　自六月七日至八月十五日期間

破產決定公告

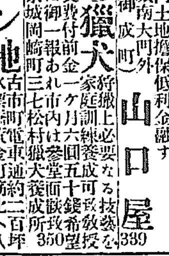
京城府蓬萊町七拾貳番地米穀商　本田滿壽男
一、本田滿壽男ヲ破產者トス
一、支拂停止ハ大正參年五月貳拾貳日午前拾壹時トス
一、破產主任官朝鮮總督府判事畑義三
一、破產管財人京城府樂園洞二百九番地辯護士高橋章之助
一、破產者ニ對シテ債務ヲ負フ者破產財團ニ屬スル物件ヲ占有スル者ハ破產者ニ債務ノ辨濟又ハ物件ノ交付ヲ爲ス可ラス
一、債權者ノ權利屆出期間ハ大正五年九月拾參日迄トス
一、債權調査會ハ同年同月貳拾七日午前拾時債權者集會ハ同年拾月貳拾八日午前拾時當法院ニ於テ之ヲ開ク
大正五年六月七日午後參時宣告
京城地方法院

給費傳習生募集

卒業後電信技術ニ從事スベキ通信生乙種傳習生約三十五名ヲ募集ス養成期間約七ヶ月內地人ニ日額三十錢朝鮮人ニ二十五錢ノ手當ヲ給ス卒業後ハ內地人ハ五十五錢以上朝鮮人ハ三十五錢以上ヲ給ス八月一日ヨリ就業ス詳細ハ最寄郵便所ニ就テ知ルベシ
大正五年六月
朝鮮總督府遞信局

男女簿記生徒募集

銀行會社商店員たらんと欲する者は速に來れ卒業後は確實に就職紹介す　規則要二錢
京城本町三丁目日ノ出小學校下
京城簿記專修館



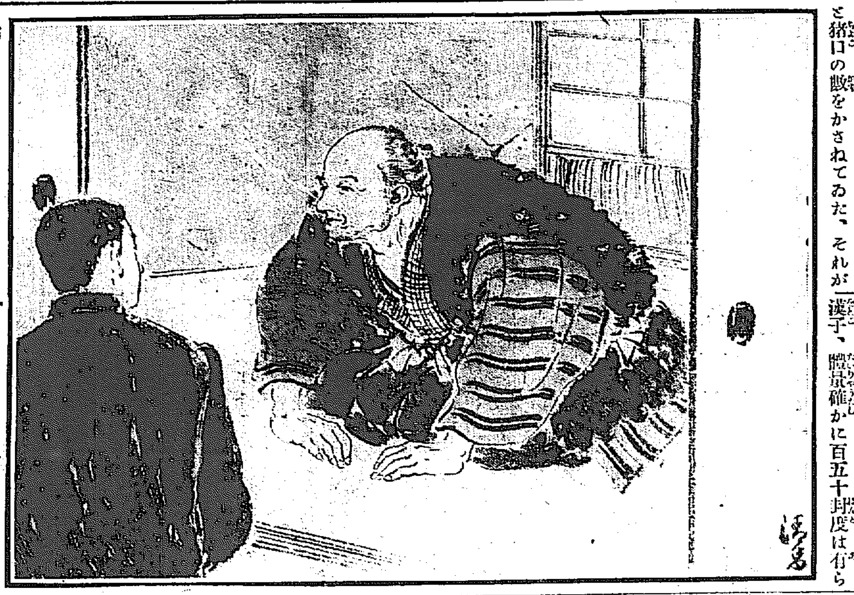
小兒良藥　樋屋奇應丸
專治　소아의실신간질　급발열증
等に奇効神の如し
到る處の藥店に有り
樋屋合資會社　大阪天滿橋

わきが
にて今迄お困りの方はファーザー藥を御用ひあれば一度で根治す　藥價三十錢六十錢
一圓注文は前金の事郵送料不要
京城黄金町三丁目　山田文榮堂藥房

女鳩　渡邊默禪

(九) 山の人

と聞いた子爵は、今箸を置いたばかりの膳を給仕に引かせて、
『あゝ參つたか。宜しい、直と此處へ通すやうに。』
と言つた。でも亭主は躊躇して、
『ひい、皆様が御飯の濟むまで待たせて置きやんすべか。』
と下座から顔色を窺つた。その時は最う鳩子も大野も食事が濟んで、只一人跡引上戸の生駒がちびり〳〵と猪口の數をかさねてゐた。それが蒼蠅さうに、
『通してよいと、御意あるんだ、直と連れて來たまへな。』
と言つた。大野は亭主と一緒に立つて下へ降りた。程なくその源作といふ獵師が大野について上つて來た
『閣下、この男です。』
『おゝ、左様か。お前が源作か。私が大河野ぢや。ずつと出い、ずつと……遠慮しては不可ん。』
子爵は莞爾に聲を懸けた。源作は次の間の閾のところに小さく跼まつて、蟇のやうに眼を張らせたなりに帖然と疊に額を摺著けてゐた。
『爺、殿様があゝ被仰るから御免を蒙つて、平つたくなつたら如何だ。究竟なとはお嫌ひな殿様だからね、やはり村の村長さんに逢ふ時のやうな心持で、遠慮なく話をして上げた方がいゝよ。此世の中に天狗様より外に怖い物は無いといつてるお前ぢやないかアハヽヽ』
と、大野は傍からこんなを言つた。
『ほうかね。究竟なとは嫌ひかね。ほだら御免を蒙つて、無調法ながらほつちへ出べいかな。』
『あゝ、それが可い〳〵。』
ぬつと起つた所を見ると、幾んど低い天井へ頭がつかへさうな魁偉な漢子、體量確かに百五十封度は有らう。でつぷりした肉づきの、腹の便々と張出した、いはゆる國技館型の體格ではあるが、その癖、目つきの女のやうに優しい、口のちよつぴりした無邪氣な顔に、何處かユーモラスな愛嬌が浮いてゐて、膨らんだ皮膚の上にはりばりした虎鬚の生れたのも、却つて怕からぬ雅趣を添へて見ゐる。殊に振つたのは前世紀の遺物をそのまゝに頭上に保存してあるとで、いつ結つたのやら、太い元結できりゝと引詰めた丁字髷は、横ちよに刷先を亂して、五分月代の叢に蛇の如く首をもだけてゐた。芋繩のごり〳〵した紺人の上に、荒い縞の筒袖半纏、それに熊の皮の胴著をかさねて、やはり盲縞のモンペイを穿いたのが、誰が見ても獵人らしい。
『御免してくだはんしよ。』
まだ膳に向つて杯盞を手にしてゐた生駒の前まで來て、其處に跼乎と坐りながら生駒に挨拶した。
『いやあ、大きな男だなア。』
もう微醉になつた生駒は、とろりとした眼をその姿に向けて笑つた。
『なるほど、その體ぢや熊も辟易するぢやろうよハヽヽ。』
子爵は彼の身邊に吹き匂つてゐる深山の嵐氣――青い杉木立の奥から颯と流れて來る朝霧のそれのやうな――に醉はされた如き心持になつて、快げに憧憬の目を瞬つた。傍の子も何だか劇中に出て來る人を見るやうな一種の懐かしい、クラシックな氣分に襲はれて、にこ〳〵したら俺かず視成つた。
『爺、此のお方が今度の熊狩に一緒にお出なすつたお嬢様だ。それから此方が生駒喜十郎といふ横濱の商家の主人で、取持のお友人といつてもよい懇意な方だ。近づきになつて置け』
大野はそれ〳〵紹介した。
『いやほうかね』。



南米倉町朝市場通仁濟病院跡
内科外科 花柳病科 入院隨意
上野醫院 電話二九三四番

京城南大門通三丁目（藤木商店横入る）
入院隨意 胃腸病院 電話一六五九番
院主 佐々木杏造

新刊紹介

▲藝術論沙翁論（トルストイ論集第一冊）藝術論は一八九八年の出版にかゝるエールマア、モウド氏の英譯より沙翁論は一九〇六年の出版に係るチエルトコフ氏及びアイ、エフ、エム氏共譯の英譯より重譯したるものにして藝術論は之を二十章に分ちトルストイが藝術に對する感想と美な基礎とせる藝術及び其基礎とせざる藝術の宗教快樂本位の[illegible]藝術の防禦的藝術主義から離れて[illegible]の結合等の各方面より觀察し現代藝術は人々の[illegible]を結合する事にあると云ふ而して理性の世界から感情の世界に傳へる事で[illegible]と結論せり、沙翁論に於ては其の藝術を評して『沙翁に對する宗教的確信が心中に醞醸して居ず、唯ありさうな事件、恐怖、悲行、卑俗[illegible]を述べたる[illegible]（東京牛込早稲田大學出版部）

▲鑛業新報（二四の二七九）鑛業に關する各種の記事を網羅せる本誌の如きは鑛業の期に入れる今日特に參考となる事多かるべし（十八錢東京市日本橋區蠣殻町一四其社）

▲都會及農村（二の六）地方農女會に指導、國勢及び日本の農村、農民と理財の御介者年團の事業施設其他（十五錢東京市麴町區平河町五の三六洛陽堂）

▲農業世界（六月號）工藝本位と農本主義、乙種農學校長評判記、食物の立體的觀察、穀物の[illegible]と米作付反別と收穫、戰時に於ける好副業、自治制の本領其他（二十二錢東京日本橋區博文館）

▲食物の養生（二の六）石塚陸軍藥劑監の食は本なり病は末なりの主義に依り日本固有の食物攝取によりて神身の壯健法を說いるもの脚氣の豫防法、與人製造法、朝鮮人の喫烟と食物の關係、桃葉は皮膚病に効あり、四十二度の大氣が季節で降下す其他平易にして有益也（十三錢東京市牛込區市谷町五一石塚食養所）

▲●●日本魂（創刊號）日本健國の大理想に基き日本魂主張を鼓吹する爲めに生れたり、新時代の孝道と日本魂、日本魂と女性、日本民族精神の尊厳、皇室中心主義其事理て陶冶修養の主義なり所謂日本魂主なりと而して執筆者には知名の士を網羅せり軍國主義の日本にはなくてならぬ雜誌なり健全なる發達を望まざるを得ず（二十錢東京市京橋區三十間堀三の七共社）

▲演藝畫報（三の六）何と言つても斯界雜誌の大立物なり口繪には[illegible]の木版錦繪、梅幸左團次の似顔繪、太功記の三色版、陸奥もの語のコロタイプ其他中繪には[illegible]のスケッチ漫畫似顔繪あり演藝畫報には三部に於ける五月狂言の寫眞數十あり、文欄は依例、諸特有の劇通の劇評を以て滿さる（三十八錢東京市京橋區南佐柄木町七演藝俱樂部）

▲日本警察新聞（三六九）五錢東京市芝區愛宕町二の一四其社

▲●●製糖原料甜菜栽培法●●● 砂糖大根甜菜の品種と其生育栽培法に就て實地より之を說けるもの十五錢（東京市京橋區南傳馬町二丁目有隣堂）

▲婦人世界（六月號）食卓閑話、雜録になつた三人の女の打明け話、美味しい梅干の漬け方、醫物同様の古絹綸が染め方で新しくなる名流婦人の顔と髮の手入れ雨はなぜ降るか其他（十七錢東京市京橋區南鍋屋町一二實業之日本社）

▲青年（四の六）歐洲大亂終結後の日本に就て田中慶大教授、水野博士と將軍、井上博士、[illegible]の說及び高柳松一郎の支那に於ける日本人と歐米人、栗原文學士の諸葛孔明、革命兒の支那の天下は誰が取る、其他（二十二錢東京市麻布區市兵衛町二の一二猶興社）

▲●●●朝鮮公論（六月號）牧山社長の朝鮮總督府に[illegible]開闢を[illegible]べし、朝鮮鐵山會社設立を發す及び同會社設立に對する名家の意見として石塚英藏氏は會社の性質に依りては歡迎すと言ひ勝田主計氏は五大理由を指摘して贊成し野田卯太郎氏は時宜に適すと叫び山口太兵衛氏は其の覺悟を公與し竹下康之氏は其の經過を宣明せり、在鮮民間勢に於ては同志社關を錄し官民人物評論には大陸鐵道局長官を提へ來れり、藝妓檢黴問題解決に就て中野保安課長は何時からでも出來ると言ひ松井鍾路署長は斷乎として實行すと蹴し千代本の女將は藝妓と娼妓さを一緒にされては困りますとこぼせり其の他の諸記事論說依例讀むべし（二十五錢京城本町二其社）

讀者の領分

某商店の一店員ですが朝鮮三界へ來て共稼ぎで一生懸命面に汗し貯金したお錢積り積つて不圖それを親友へ融通した處其のものが失敗の結果夜逃をし此間國許から「チ、キトクハヤクカヘレ」と電報が舞込旅行先へ電話の知らせで急に歸省する事になりました損をしたといふので皆様が同情して呉て居ますが既往を回顧すれば實に感慨無量のものがあります（徳を得た生）▲無所屬の士の御盡力に依り藤八拳協議會催さるゝ由に候へ共腰辨のかなしさには御定めの時日には參加仕れず候間何程御決定次第御報告被下度待居候猶願くは以後の開會は夜分になされ度候（柳川）▲大邱の某病院の婦人患者が腹膜炎で久く入院して居た其間に指定した藥を取違へそれを知らずに患者は呑んで居た事が後から發見されたさうな（知らぬが佛）▲昨夜九時頃黄金町北側の石疊の人道を西方に向つて歩みつゝある十四五年位の内地人少女ありたるが其の前方より歩み來れる十二三年位の鮮童は恰も少女と摩れ違の位置に到るや否や俄然右手を少女にかけたれば少女のキヤツと驚き叫ぶや鮮童は高笑ひを爲しつゝ矢の如く西方に向つて疾走せしが其の際偶ま其場に通り掛りし猶織姿の一壯漢は直に鮮童を追跡して捉へたり先日も新聞紙上に女學生の父兄が鮮童の惡戯を憤慨し居りたるが斯る手合なるべし（實見生）

夏とはいへど

肌冷え勝の田植頃

朝夕の持藥に弱き御婦人は

靈藥 中將湯 を召し上り

油斷から婦人病を惹起さぬやう注意が肝要

主治効能

●子宮病子宮内膜炎にて白帶多く前たれ又下腹腰足の冷込引つり
●婦人神經（ヒステリー）血の道●氣鬱ぎ癇高ぶり物を苦し夜眠ず
●月經不順月經前り等にて吹出物多く又何となく身體惡しき人
●逆上頭痛眩暈し肩こり腰足冷え●息切動氣強く手足痺れ水腫れ
●十七八歳になりて月經なく血ぶとり又月經の前後に下腹痛む人
●白帶赤帶帶下多く顔白斧白き人●冷症にして難産流産の癖ある人
●産前何となく常ならざる人、嘔吐、産後古血の滯り或は日立惡く
●此外子宮血の道月經不順に起因する諸病にてぶら〳〵と惡き人

婦人衛生手引
御申込み次第無代進呈

本書は月經時の手當を始め、婦人諸病の完全なる家庭療法、産前産後の攝生法等を知名の専門醫學士が親切平易に述べられた婦人必讀の寶典で送料として郵券二錢を添へ御申込みあれば無代進呈致します。

定價		
二日分	廿	錢
四日分	卅五	錢
一週分	六十	錢
二週分	一圓十	錢
三週分	一圓六十	錢
五週分	二圓五十	錢
十週分	四圓五十	錢

▲加減法あり容態詳しく御申込みあれ
加減藥定價
一週分 七十五錢
四週分 二圓五十錢

中將湯

東京市日本橋區通四丁目 津村順天堂本店 振替口座六〇八番 電話本局（六十二番 六十三番）
大阪市堺筋大寶寺町南入 津村順天堂支店 振替口座四五六番 電話南二十五番

中將湯は世界到處の藥店にあり市内配達無料

新刊書御案内

書名	著者	正價
金屬材料	河合匡四	一〇〇
沙翁聲句集	坪内士行	八五
二千六百年史	白柳秀湖	三五〇
自傷錄	湯原元一	九〇
岡本米藏	栗田信吉	三〇〇
銀の鍵 前編	南川春葉	一三〇
タゴールの神秘劇	英語精習社	一三〇
俳諧師	高濱虛子	一三五
男讀むべからず	丹いね子	七五
理水及砂防工學本論	諸戸北郎	一七〇
ペン習字手本及書法	三浦清束	九〇
ペン習字手本講話	後藤朝太郎 島中雄夫	八〇
實用ペン習字帖	黑柳勳	二〇
現代商業經濟	大石[illegible]吉	一六〇
コーラー博士特許法原論	小西眞雄	二〇〇
宗教々育原論	谷本富	二三〇
小型發電機製作及取扱法	大日本電氣研究會	一〇〇
蔬菜栽培法	稻川二郎	三〇

大阪屋號書店 京城本町 電話二〇八六 振替京城二五七三番

大邱浦項間自動車發着時間
上り（大邱發・浦項着）・下り（浦項發・大邱着）、各驛：安康、永川、河陽、阿火、大邱、浦項
電話七番 大塚農場自動車部 電話一一七番 大邱出張所

金泉醴泉間自動車發着時間
上り：金泉發、尙州、咸昌、醴泉着
下り：醴泉發、咸昌、尙州、金泉着
▲小荷物運搬仕り候
金泉織居自動車支部 金泉電話四八番

日本郵船仁川出帆
大連、太沽、牛莊行 和歌丸 七月五日 正午出帆
横濱行 高砂丸 六月十二日 正午出帆
三河丸 六月廿四日 正午出帆
電話十一番 仁川海岸町一丁目 堀回漕部

大阪商船仁川出帆
○外航船は五分引　○船の時は五分引きを以て
群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行 天智丸 六月十二日 後五時出
大智丸 六月廿一日
安東丸 六月十八日
木浦、釜山、關門、神戸、大阪行 大智丸 六月九日 後二時出
濟州丸 六月十六日
木浦、釜山、嚴原、鄕の浦、長崎行 信濃川丸 六月十六日 後二時出
信濃川丸 七月四日
鎭南浦、大連行 信濃川丸 六月十一日 後二時出
信濃川丸 六月廿九日
群山、神戸、大阪行 宮島丸 六月廿一日 後五時出
大連直行 福州丸 六月十日 正午出帆
潮州丸 六月十七日
群山、釜山、横濱行 潮州丸 六月十四日 後二時出
福州丸 六月廿三日
清津、浦潮行（元山出帆）八城津、西湖津ニ寄港浦潮不寄港 須磨丸 六月八日 後二時出
安平丸 六月十四日
上海、基隆、打狗行（大連出帆）基隆丸 六月十七日 後四時出
城津丸 六月廿八日
御注意 ○朝鮮鐵道及び南滿洲鐵道會社との連絡切符發賣仕候 ○御乗船客は本船出帆約一時間前迄に御乗船相成度候 ○×印は一切客御斷り △印は貨物御斷り
切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二番
京城切符發賣所 内國通運會社京城支店
▲中國四國沿岸各港行船客に限り同乗割引を以て連絡乗船切符發賣仕候

朝鮮郵船出帆
鐵道會社及び本社代理店に於て乗船券發賣仕り候
本社電話一九五・二二番
京城南大門 京城取次店 松原運送店（電話一七〇番）
○○○○ 金羅丸・京畿丸・黄海丸・成鏡丸 六月十一日・六月廿一日・六月廿五日 門司より釜山各港寄港 釜山發
○○○ 穩城丸・昌平丸・鏡城丸 六月十二日・六月十六日 元山發
○○ 忠清丸・平壤丸 六月十九日・六月十三日 元山發
○ 永興丸 每月廿八回 北久浦、五里浦行 元山發
○ 盈德丸 六月十三日 釜山發
○ 江陵丸 每日 浦項發
○○ 慶州丸・巨濟丸 每日 釜山發
○ 三浦丸 六月十二日 釜山發
○○○○ 海州丸・統營丸・巨濟丸・慶州丸 每日 釜山發
○ 順天丸 三日目毎 木浦發
○ 公州丸 六月十日 木浦發
○ 公州丸 六月十五日 木浦發
○ 慶興丸 六月十四日 木浦發
○ 宗信丸 六月十日 仁川發
○ 江原丸 六月十六日 仁川發
○○ 麗水丸・晋州丸 六月十日・六月十五日 仁川發
○○ 錦江丸・南陽丸 每日午前 仁川發
○ 平安丸 六月十九日・六月十二日 群山發 若松發

阿波共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行 共同丸 六月七日・六月九日 日入港・日出港
第一阪鶴丸 城津、清津、浦潮行（元山出帆） 月 日後九時出
第三共同丸（元山出帆）西湖津沿岸各港を經て雄基行 月 日前八時出
阿波國共同汽船株式會社 仁川代理店 山下回漕部 元山代理店 田口回漕部 京城取次店 河村運送店

汽船釜山出帆廣告
門司、神戸、大阪行 立神丸 六月廿三日 日後五時出帆
元山、清津、浦鹽行 立神丸 六月 日後十時出帆
門司、神戸、大阪行 小倉丸 六月 日後五時出帆
元山、城津、浦鹽行 小倉丸 六月 日後十時出帆
門司、宇品、神戸、大阪行 第三平丸 六月 日後六時出帆
住須奈、嚴原、壹岐、博多行 天眞丸 每月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆
釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

尼崎汽船仁川出帆
仁川、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行 大正丸 六月十四日 日後四時出帆
大有丸 六月十九日 日後四時出帆
大代丸 六月十八日 日後四時出帆
神吉丸 六月十九日 日後四時出帆
秀吉丸 六月十二日 日後五時出帆
若代丸
仁川海岸通一丁目 電話十九番 高杉回漕部